

北海道自転車競技連盟 選手及び審判各位

平成26年4月7日
北海道自転車競技連盟
総務委員長 勝見 洋一

公益財団法人 日本自転車競技連盟 競技規則集
2014 改訂事項一覧表 概要説明 掲載のご案内

平素より当競技連盟の事業に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、表記します「2014 競技規則集 改訂一覧表 概要説明」を掲載しますので各選手及び審判役員皆様において事前に熟読していただき大会運営に支障のないようお願い申し上げます

以上

【別表5】 2014 マウンテンバイク・ポイント・ランキング・テーブル

順位	J	J1	J2	J3 All Categories J/J1 DH	
	All Categories (Juniorのみ)	All Categories	Elite	Sport/Export	手選 ACT
	D	E	F	G	H
1	175	150	75	100	20
2	160	120	60	85	12
3	150	120	60	75	16
4	135	115	45	65	13
5	125	110	41	60	11
6	115	105	35	65	10
7	110	102	32	60	9
8	105	98	35	48	8
9	100	94	33	46	7
10	95	90	31	44	6
11	92	87	30	42	6
12	85	84	29	40	4
13	85	81	28	39	3
14	83	78	27	38	2
15	80	75	26	37	1
16	78	72	25	26	
17	74	69	24	25	
18	74	66	23	24	
19	72	63	22	23	
20	70	60	21	22	
21	68	58	20	21	
22	65	56	19	20	
23	61	54	18	20	
24	60	52	17	28	
25	62	51	16	27	
26	64	50	15	26	
27	64	49	14	25	
28	63	48	13	24	
29	62	47	12	23	
30	61	46	11	22	
31	45	45	10	21	
32	44	44	9	19	
33	43	43	8	18	
34	42	42	7	17	
35	41	41	6	16	
36	40	40	5	15	
37	39	39	4	14	
38	38	38	3	13	
39	37	37	2	12	
40	36	36	1	11	
41	25	26	12/13	10	
42	24	24		9	
43	23	23		8	
44	22	22		7	
45	21	21		6	
46	20	20		5	
47	20	20		4	
48	28	28		3	
49	27	27		2	
50	26	26		1	
51	25	25	12/13		
52	24	24			
53	23	23			
54	22	22			
55	21	21			
56	20	20			
57	19	19			
58	18	18			
59	17	17			
60	16	16			
61	15	15			
62	14	14			
63	13	13			
64	12	12			
65	11	11			
66	10	10			

2014 マウンテンバイク・ポイント・ランキング・テーブル

順位	エリート	U23	ジュニア	マスター
1	200	150	90	90
2	170	120	80	20
3	150	100	70	70
4	135	80	60	60
5	130	60	54	54
6	125	50	48	48
7	120	45	44	44
8	115	40	40	40
9	100	35	35	35
10	105	32	32	32
11	101	30	30	30
12	97	28	28	28
13	92	26	26	26
14	89	24	24	24
15	86	22	22	22
16	83	20	20	20
17	80	18	18	18
18	77	16	16	16
19	74	14	14	14
20	71	12	12	12
21	68	10	10	10
22	65	9	9	9
23	61	8	8	8
24	59	7	7	7
25	57	6	6	6
26	55	5	5	5
27	54	4	4	4
28	53	3	3	3
29	52	2	2	2
30	51	1	1	1
31	50	1/1	1/1	1/1
32	49			
33	48			
34	47			
35	46			
36	45			
37	44			
38	43			
39	41			
40	39			

順位	エリート
41	37
42	36
43	35
44	34
45	33
46	32
47	31
48	30
49	29
50	27
51	25
52	24
53	23
54	22
55	21
56	20
57	19
58	18
59	17
60	16
61	15
62	14
63	13
64	12
65	11
66	10
67	9
68	8
69	7
70	6
71	5
72	4
73	3
74	2
75	1
-	1/1

①取り外して、切る
 ↓②山折り
 ※このページから内側部分を取り外して、①折り目部分で切り取り、
 ②点線部分を山折りして下さい。携帯版(A5,32p)になります。

(公財)日本自転車競技連盟 競技規則集

2014年改訂事項一覧表 概要説明



公益財団法人 日本自転車競技連盟

2014年版
 JCF競技規則集
 (公財)日本自転車競技連盟 2014年版の競技規則集が発行されました。
 ご購入希望のお問合せは、各加盟団体へお問合せください。

(公財)日本自転車競技連盟競技規則集改訂事項一覧表(案)

条項	2013年版	2014年版
公益財団法人日本自転車競技連盟定款		
第2条(事務所)	この法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。	(事務所) この法人は、主たる事務所を東京都品川区に置く。
第1章 総則		
第1条(制定の規範)	この競技規則は、国際自転車競技連合(以下 UCI という)の定款および諸規則を規範として制定する。これら規則に変更のあった場合には、準拠して改訂する。	(制定の規範) この競技規則は、国際自転車競技連合(以下 UCI という)の定款および諸規則を規範として制定する。これら規則に変更のあった場合には、準拠して改訂する。UCI 規則のうち、この競技規則に明文の規定のないものは、UCI 規則を準用する。
第4条 A		(競技中の定義) 競技中とは、スタート前のスタート・チェック時から、競技結果が確定し、表彰等が終了するまでをいう。
第5章 自転車およびオートバイ		
第16条(トラック・レーサーおよびロード・レーサー)	(トラック・レーサーおよびロード・レーサー)	(トラック・レーサーおよびロード・レーサー)
3. 自転車		自転車
(1)原則		原則
⑤ 推進力	自転車の推進力は、チェーンセットを介して円運動する下肢の筋肉(脚)のみにより得られるもので、電気その他の補助があってはならない。	推進力 自転車の推進力は、チェーンセットを介して円運動する下肢の筋肉(脚)のみにより得られるもので、電気その他の補助があってはならない。 パラサイクリングにおいて、上肢または下肢のためのメカニカルな補綴/整形外科的ブレースは、UCI クラス分け手続に従って評価され、再評価(R)または確認済(C)ステータスを持っている競技者によってのみ使用することができる。 下肢のためのメカニカルな補綴/整形外科的ブレースはパラサイクリング競技外で使用できない。
⑧ 自転車の車輪は、タイヤも含めて最大70cmから最小55cmのあらゆる寸法を採用できる。シクロクロス用自転車ではタイヤの最大幅(もっとも広い部分で計測する)は33mmとし、いかなる形式でもスパイクやスタッドを組み込んではならない。	第16条2.(1),(2)に反しない場合、2002年より集団スタートのロード・レースとシクロクロス競技においてはUCIの事前承認を得た車輪のみ使用できる。車輪は最少12本のスポークを持つ。それらの断面寸法が10 mmを超えない限り、スポークは丸、扁平もしくは楕円であってよい。承認を得るためには、UCI認可の研究所においてUCIが規定した破壊検査に、合格しなければならない。試験結果は、車輪の通常使用時の衝撃による結果と矛盾しない破壊特性が得られなければならない。次の基準は満たされなければならない:	第16条2.(1),(2)に反しない場合、2002年より集団スタートのロード・レースとシクロクロス競技においてはUCIの事前承認を得た車輪のみ使用できる。車輪は最少12本のスポークを持つ。それらの断面寸法が10 mmを超えない限り、スポークは丸、扁平もしくは楕円であってよい。承認を得るためには、UCI認可の研究所においてUCIが規定した破壊検査に、合格しなければならない。試験結果は、車輪の通常使用時の衝撃による結果と矛盾しない破壊特性が得られなければならない。次の基準は満たされなければならない:
<ul style="list-style-type: none"> 衝撃により、車輪の構成材が分離したり外へ飛び出したりしてはならない。 破端は、破片を生じたり、あるいは、鋭利または鋸歯状の破面が使用者、他の競技者および/または第三者を傷つけることがあってはならない。 破壊特性は、ハブがリムから外れてしまったり、車輪がフォークから外れるような原因となってはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 衝撃により、車輪の構成材が分離したり外へ飛び出したりしてはならない。 破端は、破片を生じたり、あるいは、鋭利または鋸歯状の破面が使用者、他の競技者および/または第三者を傷つけることがあってはならない。 破壊特性は、ハブがリムから外れてしまったり、車輪がフォークから外れるような原因となってはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 衝撃により、車輪の構成材が分離したり外へ飛び出したりしてはならない。 破端は、破片を生じたり、あるいは、鋭利または鋸歯状の破面が使用者、他の競技者および/または第三者を傷つけることがあってはならない。 破壊特性は、ハブがリムから外れてしまったり、車輪がフォークから外れるような原因となってはならない。
法、規則あるいは慣例により課せられる検査を損なわない限り、標準(伝統的)車輪は上記の破壊検査を免除される。伝統的車輪とは、最小 16 本の金属スポークを持つも		法、規則あるいは慣例により課せられる検査を損なわない限り、標準(伝統的)車輪は上記の破壊検査を免除される。伝統的車輪とは、最小 16 本の金属スポークを持つも

【別表 4】国内ロード競技大会用ポイント・テーブル

Rank	RR-Class	RR-Class	RR-Class	RR-Class	RR-Class	RR-Class	RR-Class
1	40	25	20	16	10	8	6
2	30	18	14	11	7	5	4
3	16	10	8	6	4	3	2
4	12	7	6	5	3	2	1
5	10	6	5	4	2	1	-
6	8	5	4	3	1	-	-
7	6	4	3	2	-	-	-
8	4	3	2	1	-	-	-
9	3	2	1	-	-	-	-
10	2	1	-	-	-	-	-
11	1	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-
15	-	-	-	-	-	-	-

ロード競技大会用ポイント・テーブル(男子エリート)

EVENT	シヤブ カップ	ツール 湖橋	国内総自 ラダレー	アジア ロード	アジア ロード	世界 ロード	全日本選手権 ロードレース	ツール・ド 北海道
CLASS	N1	N2	N1	N2	N1	N2	ロードレース	2.2
順位	100	40	10	80	40	16	80	40
2	70	30	7	56	30	11	66	30
3	40	16	4	32	16	6	32	16
4	30	12	3	24	12	5	24	12
5	25	10	2	20	10	4	20	10
6	20	8	1	16	8	2	16	8
7	15	6	1	12	6	1	12	6
8	10	4	1	8	4	1	8	4
9	7	3	1	6	3	1	6	3
10	6	2	1	5	2	1	5	2
11	5	1	1	4	1	1	4	1
12	4	1	1	3	1	1	3	1
13	3	1	1	2	1	1	2	1
14	2	1	1	1	1	1	1	1
15	1	1	1	1	1	1	1	1
16	1	1	1	1	1	1	1	1
17	1	1	1	1	1	1	1	1
18	1	1	1	1	1	1	1	1
19	1	1	1	1	1	1	1	1
20	1	1	1	1	1	1	1	1
21	1	1	1	1	1	1	1	1
22	1	1	1	1	1	1	1	1
23	1	1	1	1	1	1	1	1
24	1	1	1	1	1	1	1	1
25	1	1	1	1	1	1	1	1
26	1	1	1	1	1	1	1	1
27	1	1	1	1	1	1	1	1
28	1	1	1	1	1	1	1	1
29	1	1	1	1	1	1	1	1
30	1	1	1	1	1	1	1	1

*チーム・タイムトライアルの場合は、上記の1/2のポイントを各完走者に与える。

N1, 2対象大会については別途定める

付表 17: パラサイクリング標準パフォーマンス係数表

Table with multiple sections (男女別) showing performance coefficients for various cycling disciplines like C5, C4, C3, C2, C1, H4, H3, H2, H1, T2, T1, B. Each section lists age groups and their corresponding coefficients.

日本自転車競技連盟ランキング制度

- 6. ロード・レース
(1) 対象競技大会および大会別のポイント
UCI国際競技日程上の大会および別表4に示す国内競技大会。
(2) 順位によるポイント
UCI国際競技日程上の大会については、UCI規則第3部第X章、第XI章、第XII章、第XIII章にそれぞれ規定されるポイントに準じて、国内競技大会は別表4による。
(3) ポイントの集計とランキングの公表
男子U23、男子ジュニア、女子の集計は、4月4日に無得点の状態から開始し、12月31日までの集計とする。ランキングは、UCIロード・コンチネンタル・ランキング発表の日を日誌として作成・発表する。
8. マウンテンバイク(MTB)
(2) ポイントの集計とランキングの公表
年間を通じて、すべての公認大会を対象としてクロスカン트리、ダウンヒルそれぞれ上位者にポイントが与えられる。
(3) ポイントの集計とランキングの公表
年間を通じて、公認大会を対象としてクロスカンントリー、ダウンヒルそれぞれ上位者にポイントが与えられる。各競技者が各大会で獲得したポイントを、獲得ポイント上位の大会からランキング集計の対象となる大会までの大会におけるポイントを集計して、個人のランキングを決定する。ランキング集計の対象となる大会数は、JおよびJ1の全大会数の75%(小数点以下切り上げ)とする。

Table titled 'JCFロード・ランキング対象国内競技大会とそのクラス' showing details of domestic cycling events and their classifications.

のとみなされる。スポークは断面寸法が 2.4mm を超えない円、扁平または楕円断面で、リムはその断面において各面の間隔が 2.5cm を超えないものとする。この条項にかかわらず、車輪の選択と使用は第 16 条 1.(1)から(2)による。

(2) 技術的詳細
a) 寸法 (「寸法(1)」図を見よ)
② サドルの先端部が、ボトムブラケットの中心を通る垂線より少なくとも5cm後方に位置しなければならない。 ※ この制限は、トラック競技の短距離種目(フライング200mタイムトライアル、フライング・ラップ、スプリント、チーム・スプリント、ケイリン、500mあるいは1kmタイムトライアル)の競技者の自転車には適用しない; しかしながら、いかなる場合も、サドルの先端部はボトムブラケットを通る垂線より前に出たはならない。

※: 当条項および第16条3.(2)a)②における注*で示した距離は、身体形態上の理由で必要な場合には、サドルの先端はボトムブラケット軸を通る垂直線まで前進させることができる。身体形態上の理由とは、競技者の体格、手脚の長さに関するすべての要素を考慮に入れて解釈する。これらの理由により、規定より寸法の小さい自転車が必要であると考えられる競技者は、ライセンスコントロール時にコミセール・パネルに申告しなければならない。

自転車車輪は、タイヤも含めて最大70cmから最小55cmのあらゆる寸法を採用できる。シクロクロス用自転車ではタイヤの最大幅(もつとも広い部分で計測する)は33mmとし、いかなる形式でもスパイクやスタッドを組み込んだはならない。

第16条2.(1),(2)に反しない場合、2002年より集団スタートのロード・レースとシクロクロス競技においてはUCIの事前承認を得た車輪のみ使用できる。車輪は最少12本のスポークを持つ; それらの断面寸法が10 mmを超えない限り、スポークは丸、扁平もしくは楕円であってよい。承認を得るためには、UCI認可の研究所においてUCIが規定した破壊検査に、合格しなければならない。試験結果は、車輪の通常使用時の衝撃による結果と矛盾しない破壊特性が得られなければならない。次の基準は満たされなければならない:

- 衝撃により、車輪の構成材が分離したり外へ飛び出したリしてはならない。
●破壊は、破片を生じたり、あるいは、鋭利または鋸歯状の破面が使用者、他の競技者および/または第三者を傷つけることがあってはならない。
●破壊特性は、ハブがリムから外れてしまったり、車輪がフォークから外れるような原因となってはならない。
法、規則あるいは慣例により課せられる検査を損なわない限り、標準(伝統的)車輪は上記の破壊検査を免除される。伝統的車輪とは、最小16本の金属スポークを持つものとみなされる。スポークは断面寸法が 2.4mm を超えない円、扁平または楕円断面で、リムはその断面において各面の間隔が 2.5cm を超えないものとする。この条項にかかわらず、車輪の選択と使用は第16条 1.(1)から(2)による。

<p>c)形状 ②ロード・タイムトライアルおよびトラック・レースにおける自転車フレームの素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレードル状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのボトム・ブラケット・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)c)①に示す「三角形」のテンプレートに収まる形状でなければならない。(形状(2)を見よ)</p> <p>トップチューブとダウンチューブの事実上の幅はトップチューブとダウンチューブの内側接合点とヘッドチューブボックス前面との最狭点において46cmを超えてはならない。</p>	<p>1.(1)から(2)による。 形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レースにおける自転車フレームの素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレードル状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのボトム・ブラケット・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)c)①に示す「三角形」のテンプレートに収まる形状でなければならない。(形状(2)を見よ)</p> <p>2つの8cmの二等辺を持つ補強三角形は、三角形が認可されないチェーン・ステアとシート・ステイ間の結合部を除いてフレーム要素間の結合部で認可されている。さらに、トップ・チューブとダウン・チューブの間の補強三角形は、ヘッド・チューブ・ボックスの前面によりその最前縁が幅 16cm で区切られる補強結合ゾーンにより置き換えられる。</p>
<p>d) 構造 ① 第16条3.(2)d)②を適用する以外の競技においては、伝統的形状のハンドルバーのみが使用できる(「構造(1)」図を見よ)。ハンドルバーは以下に明示する範囲になければならない: 上限、サドル座面(B)を通る水平面; 下限、前後輪(これらは同径である)の上端を通る水平線(C); 後方は操舵軸(D)そして前方は5cmの許容差を以て前車軸を通る垂直線(「構造(1)」図を見よ)。この(A)については、トラックの短距離種目(フライング200m、フライングラップ、スプリント、チーム・スプリント、ケイリン、500mおよび1kmタイムトライアル)に出場する競技者の自転車には適用しないが、前車軸を通る垂直線より10cm以上前に出てはならない。</p> <p>【J】ハンドルバーの下限(C)(前後輪の上端を通る水平線)は、身体形態上の理由が必要な場合には下方に拡張できる。これらの理由により、規定より寸法の小さい自転車が必要であるとする競技者は、ライセンストロム時にコミセール・パネルに申告しなければならない。</p> <p>ハンドルバーに付くブレーキ操作部は、二つのレバー保持部からなる。これは、レバー保持部の上に置いた手でレバーを引いてブレーキを作動できなければならない。二者択一的使用をしやすくするいかなる保持部の延長および変形も禁止する。</p> <p>ブレーキと変速機操作の複合機構は承認されている。ストレート/フラットなハンドルバーの使用は認められない。</p> <p>ロード・タイムトライアルとトラックにおける個人およびチーム・パーシュート、4km および 500m タイムトライアルにおいては、ステアリング・システムに固定延長部を付加することができる; この場合、肘の支持点とハンドルバー・エクステンションの最高部と最低部(変速レバーを含む)との差は 10cm を超えてはならない。</p> <p>ポトム・ブラケット軸を通る垂線とハンドルバーの先端との距離は 75cm を超えてはならず; その他の第 16 条 3.(2)d)①(B,C,D)に定める制限は変更されない。肘または前腕の保持部は許される(図「構造(1B)」を見よ)。</p>	<p>構造 第16条3.(2)d)②を適用する以外の競技においては、伝統的形状のハンドルバーのみが使用できる(「構造(1)」図を見よ)。ハンドルバーは以下に明示する範囲になければならない: 上限、サドル座面(B)を通る水平面; 下限、前後輪(これらは同径である)の上端を通る水平線(C); 後方は操舵軸(D)そして前方は5cmの許容差を以て前車軸を通る垂直線(「構造(1)」図を見よ)。この(A)については、トラックの短距離種目(フライング200m、フライングラップ、スプリント、チーム・スプリント、ケイリン、500mおよび1kmタイムトライアル)に出場する競技者の自転車には適用しないが、前車軸を通る垂直線より10cm以上前に出てはならない。</p> <p>【J】ハンドルバーの下限(C)(前後輪の上端を通る水平線)は、身体形態上の理由が必要な場合には下方に拡張できる。これらの理由により、規定より寸法の小さい自転車が必要であるとする競技者は、バイク・チェック時にコミセール・パネルに申告しなければならない。</p> <p>ハンドルバーに付くブレーキ操作部は、二つのレバー保持部からなる。これは、レバー保持部の上に置いた手でレバーを引いてブレーキを作動できなければならない。二者択一的使用をしやすくするいかなる保持部の延長および変形も禁止する。</p> <p>ブレーキと変速機操作の複合機構は承認されている。ストレート/フラットなハンドルバーの使用は認められない。</p> <p>ロード・タイムトライアルとトラックにおける個人およびチーム・パーシュート、においては、ステアリング・システムに固定延長部を付加することができる; この場合、肘の支持点とハンドルバー・エクステンションの最高部と最低部(変速レバーを含む)との差は 10cm を超えてはならない。</p> <p>トラックの 500m および 1km タイムトライアルにおいてもハンドルバー・エクステンションを付加することは可能であるが、この場合、サドルの先端はボトム・ブラケット軸を通る垂直面より少なくとも 5cm 後方になければならない。</p> <p>ポトム・ブラケット軸を通る垂線とハンドルバーの先端との距離は 75cm を超えてはならず; その他の第 16 条 3.(2)d)①(B,C,D)に定める制限は変更されない。肘または前腕の保持部は許される(図「構造(1B)」を見よ)。</p>

<p>なければならない。</p>	<p>なければならない。 ディスクブレーキはダブル・ホイールへの使用が認可される。</p>																																							
<p>付表 2-1: ロード・レースの区分(クラス)</p>																																								
<p>1. 国際(世界+大陸)競技日程</p> <table border="1"> <tr> <th>クラス</th> <th>サーキット</th> <th>参加</th> </tr> <tr> <td>ME+MU HC (1.HC+2.HC)</td> <td>UCI アフリカ・ツアー</td> <td>UCI プロチーム (最多 60%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>UCI アメ리카・ツアー</td> <td>UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>UCI アジア・ツアー</td> <td>UCI コンチネンタル・チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>UCI オセアニア・ツアー</td> <td>UCI コンチネンタル・チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>- ナショナル・チーム</td> </tr> <tr> <td>WE-HC (1.HC+2.HC)</td> <td>世界</td> <td>UCI 女子チーム ナショナル・チーム</td> </tr> </table>	クラス	サーキット	参加	ME+MU HC (1.HC+2.HC)	UCI アフリカ・ツアー	UCI プロチーム (最多 60%)		UCI アメ리카・ツアー	UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チーム		UCI アジア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム		UCI オセアニア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム			- ナショナル・チーム	WE-HC (1.HC+2.HC)	世界	UCI 女子チーム ナショナル・チーム	<p>国際(世界+大陸)競技日程</p> <table border="1"> <tr> <th>クラス</th> <th>サーキット</th> <th>参加</th> </tr> <tr> <td>ME+MU HC (1.HC+2.HC)</td> <td>UCI アフリカ・ツアー</td> <td>UCI プロチーム (最多 65%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>UCI アメ리카・ツアー</td> <td>UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>UCI アジア・ツアー</td> <td>UCI コンチネンタル・チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>UCI オセアニア・ツアー</td> <td>UCI コンチネンタル・チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>- ナショナル・チーム</td> </tr> </table>	クラス	サーキット	参加	ME+MU HC (1.HC+2.HC)	UCI アフリカ・ツアー	UCI プロチーム (最多 65%)		UCI アメ리카・ツアー	UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チーム		UCI アジア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム		UCI オセアニア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム			- ナショナル・チーム
クラス	サーキット	参加																																						
ME+MU HC (1.HC+2.HC)	UCI アフリカ・ツアー	UCI プロチーム (最多 60%)																																						
	UCI アメ리카・ツアー	UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チーム																																						
	UCI アジア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム																																						
	UCI オセアニア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム																																						
		- ナショナル・チーム																																						
WE-HC (1.HC+2.HC)	世界	UCI 女子チーム ナショナル・チーム																																						
クラス	サーキット	参加																																						
ME+MU HC (1.HC+2.HC)	UCI アフリカ・ツアー	UCI プロチーム (最多 65%)																																						
	UCI アメ리카・ツアー	UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チーム																																						
	UCI アジア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム																																						
	UCI オセアニア・ツアー	UCI コンチネンタル・チーム																																						
		- ナショナル・チーム																																						
<p>2. 国内競技日程</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内競技日程、その構成、国内競技のクラス分けおよび参加規則の管理は、下記の条項を条件として、当該国内連盟の責任下にある。 当該国の UCI コンチネンタル・チーム、地域およびクラブ・チーム、ナショナル・チームおよび混成チームのみが国内競技大会に参加できる。混成チームは UCI プロチーム所属の競技者を含むことはできない。 国内競技大会には最多 3 の外国チームを受け入れることができる。 国内連盟は、国境地帯に居住する外国競技者の参加についての協定を結ぶことができる; こうした競技者は外国競技者としてみなされない。これら協定は競技を管理するコミセール・パネルに提出されなければならない。 	<p>国内競技日程</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内競技日程、その構成、国内競技のクラス分けおよび参加規則の管理は、下記の条項を条件として、当該国内連盟の責任下にある。 当該国の UCI コンチネンタル・チーム、地域およびクラブ・チーム、ナショナル・チームおよび混成チームのみが国内競技大会に参加できる。ナショナル・チームのみが UCI プロチームあるいは UCI プロフェッショナル・コンチネンタル・チームの競技者を含めることができる。 国内競技大会には最多 3 の外国チームを受け入れることができる。 国内連盟は、国境地帯に居住する外国競技者の参加についての協定を結ぶことができる; こうした競技者は外国競技者としてみなされない。これら協定は競技を管理するコミセール・パネルに提出されなければならない。 																																							

<p>付表 3: ペナルティ表</p>					
ロード	男子エリート世界選手権 オリンピック・男子エリート ワールド・カレンダー クラス HC および 1 -男子 エリート	その他の競技	ロード	男子エリート世界選手権 オリンピック・男子エリート ワールド・カレンダー クラス HC および 1 -男子 エリート	その他の競技
トラック	男子エリート世界選手権 男子エリート・ワールドカップ エリート6日間競技 その他エリート競技	その他の競技	トラック	男子エリート世界選手権 男子エリート・ワールドカップ エリート6日間競技 その他エリート競技	その他の競技
マウンテン・バイク	エリート世界選手権 オリンピック競技会 ワールドカップ	その他の競技	マウンテン・バイク	エリート世界選手権 オリンピック競技会 ワールドカップ	その他の競技
シクロクロス	エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1	その他の競技	シクロクロス	エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1	その他の競技
パラサイクリング	世界選手権 パラリンピック競技会 ワールド・カップ	その他の競技	パラサイクリング	世界選手権 パラリンピック競技会 ワールド・カップ	その他の競技
14b)	競技中の出来事	競技中の出来事	コースの一部ではない車道の脇の歩道/舗道、小道または自転車道を使用する。	競技者: 200 および/または 除外	競技者: 100 および/または 除外

白ヘルメット:	C4 男子および女子 H2 男子および女子 タンデム女子 T2 女子	白ヘルメット:	C4 男子および女子 H2 男子および女子 タンデム女子 T2 女子
青ヘルメット:	C3 男子および女子 H4 男子および女子 T1 女子	青ヘルメット:	C3 男子および女子 H2 男子 T1 女子
黒ヘルメット:	H4 男子および女子 C2 男子および女子 T1 男子および女子	黒ヘルメット:	H5 男子および女子 C2 男子および女子 T1 男子
黄ヘルメット:	C1 男子および女子 H1 女子	黄ヘルメット:	C1 男子および女子 H1 女子

27A

28. パラサイクリング競技大会で使用される自転車は、第16条の現行必要条件に合致しなければならない。身体形態上あるいは障害を理由として、例外は許容されるが、自転車に関するUCI規則の原則は守られなければならない。例として、競技者が変速機あるいはブレーキ・レバーを操作するために補助器具を必要とする場合、空気力学的優位に関する公平性及び安全性が損なわれない限り、上肢に障害を持つ競技者にはハンドルバー・アダプターが許される。

人工的握りおよび装具を障害のある上肢に使用することは許されるが、自転車に固定してはならない。落車時の安全上の理由から、自転車の部品に固定した硬質の硬質の補綴補助具は許可されない。

ハンドサイクルを除いて、競技者のポジションはペダル、サドルおよびハンドル・バーのみにより支えられなければならない。

膝上切断の競技者は大腿のみを支える補装具を使用できるが、安全上の理由により大腿部を自転車に固定することはできない。これが意味するのは、補装具は自転車に付けられた、閉じられた基部と基部において最大10cm側面からなる半円筒形であるが、大腿を固定する器具の使用は許されない。

29. ロード用二輪車、タンデム、三輪車およびハンドサイクルは独立した2系統の制動装置を備えなければならない。二輪車およびタンデムは独立した制動装置を各車輪に備えなければならない。

ハンドサイクル: ハンドサイクルの場合、同軸輪のブレーキは、両輪に効くものでなければならない。ブレーキ機構は動的でなければならない。車輪固定もしくはストッパーは許容されない。

三輪車: 三輪車の場合、2系統のブレーキを、ひとつは前輪にひとつは後輪につけなければならない。ハンドサイクルと同じく、同軸車輪のブレーキは動的で、両輪に効くものでな

ロード競技において間違った色のヘルメットを使用した競技者は、スタートを許されず、および/またはレースから除外され、失格となる。

タンデム競技の競技者は、原則として同一の競技服(ジャージ、パンツ)を着用しなければならない。

パラサイクリング競技大会で使用される自転車は、第16条の現行必要条件に合致しなければならない。身体形態上あるいは障害を理由として、例外は許容されるが、自転車に関するUCI規則の原則は守られなければならない。例として、競技者が変速機あるいはブレーキ・レバーを操作するために補助器具を必要とする場合、空気力学的優位に関する公平性及び安全性が損なわれない限り、上肢に障害を持つ競技者にはハンドルバー・アダプターが許される。

UCIウェブサイトより入手可能なすべての広く適用されるUCI承認要領は適切な場合に真実とされなければならない。

エネルギー蓄積または補助機構は整形外科的プレース/補綴に組み込まれてはならない。下肢の機械式の整形外科的プレース/補綴について、膝関節のピボットポイントは影響を受けていない脚の大腿部の関節と等しい位置にななければならない。

人工的握りおよび装具を障害のある上肢に使用することは許されるが、自転車に固定してはならない。落車時の安全上の理由から、自転車の部品に設置した固定した硬質の整形外科的プレースまたは固定した上下肢は許可されない。いかなる場合にも、安全機構は取付ける必要がある。

ハンドサイクルを除いて、競技者のポジションはペダル、サドルおよびハンドル・バーのみにより支えられなければならない。

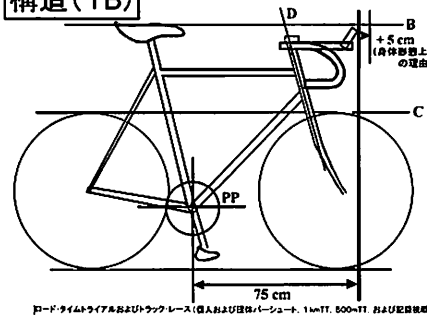
膝上切断の競技者は大腿のみを支える補装具を使用できるが、安全上の理由により大腿部を自転車に固定することはできない。これが意味するのは、補装具は自転車に付けられた、閉じられた基部と基部において最大10cm側面からなる半円筒形であるが、大腿を固定する器具の使用は許されない。

ロード用二輪車、タンデム、三輪車およびハンドサイクルは独立した2系統の制動装置を備えなければならない。二輪車およびタンデムは独立した制動装置を各車輪に備えなければならない。

ハンドサイクル: ハンドサイクルの場合、同軸輪のブレーキは、両輪に効くものでなければならない。ブレーキ機構は動的でなければならない。車輪固定もしくはストッパーは許容されない。

三輪車: 三輪車の場合、2系統のブレーキを、ひとつは前輪にひとつは後輪につけなければならない。ハンドサイクルと同じく、同軸車輪のブレーキは動的で、両輪に効くものでな

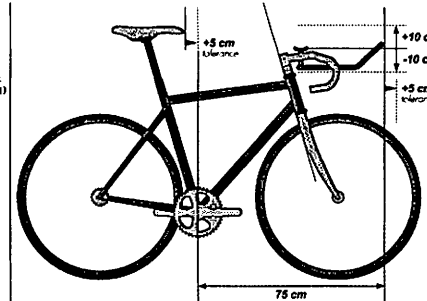
構造(1B)



ロード・タイム・トライアル(個人および団体)用自転車(個人、1人用、2000+11、および2000+11)

ロード・タイム・トライアルにおいては、ハンドルバー延長部に操作部またはレバーを、75cm マークを超える握りの位置をもたらしないうりにおいて、固定することができる。

前節により規定されるトラックおよびロード競技においては、この75cmの距離は身体形態上の理由により80cmまで延長できる; "身体形態上の理由"とは、競技者の身体部分の長さ起因するものと理解される。この理由により75から80cmの距離を使用する必要があると考える競技者は、そのライセンスを提出するときにコミセール・パネルに伝えなければならない。この場合、コミセール・パネルは以下のテストを実施する。競技者が競技姿勢をとるとき、前腕と上腕の角度が120°以上にならないことを確認する。



ロード・タイム・トライアルにおいては、ハンドルバー延長部に操作部またはレバーを、75cm マークを超える握りの位置をもたらしないうりにおいて、固定することができる。

前節により規定されるトラックおよびロード競技においては、この75cmの距離は身体形態上の理由により80cmまで延長できる; "身体形態上の理由"とは、競技者の身体部分の長さ起因するものと理解される。この理由により75から80cmの距離を使用する必要があると考える競技者は、そのバイク・チェック時にコミセール・パネルに伝えなければならない。身体形態上の理由によるただひとつの免除を要請できる。条項 1.3.023 に従い、ハンドルバー・エクステンションを前進させるか、サドル先端を前進させることができる。

第8章 競技者種目

第28条 (ロード・レース種目)			(ロード・レース種目)		
クラス	カテゴリ	距離	クラス	カテゴリ	距離
パラサイクリング 国際競技大会	B 男子 B 女子 C5 男子 C4 男子 C3 男子 C2 男子 C1 男子 C5 女子 C4 女子 C3 女子 C2 女子 C1 女子	最大 120 km 最大 100 km 最大 100 km 最大 100 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 60 km 最大 60 km 最大 60 km	パラサイクリング 国際競技大会	B 男子 B 女子 C5 男子 C4 男子 C3 男子 C2 男子 C1 男子 C5 女子 C4 女子 C3 女子 C2 女子 C1 女子	最大 120 km 最大 100 km 最大 100 km 最大 100 km 最大 100 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 60 km 最大 60 km

	T2 男子 T1 男子 T2 女子 T1 女子 H4 男子 H3 男子 H2 男子 H1 男子 H4 女子 H3 女子 H2 女子 H1 女子	最大 40 km 最大 30 km 最大 30 km 最大 30 km 最大 80 km 最大 80 km 最大 80 km 最大 60 km 最大 80 km 最大 60 km 最大 60 km 最大 50 km		T2 男子 T1 男子 T2 女子 T1 女子 H5 男子 H4 男子 H3 男子 H2 男子 H1 男子 H5 女子 H4 女子 H3 女子 H2 女子 H1 女子	最大 40 km 最大 30 km 最大 30 km 最大 30 km 最大 80 km 最大 80 km 最大 80 km 最大 60 km 最大 60 km 最大 80 km 最大 60 km 最大 60 km 最大 50 km 最大 50 km	
4.	インディヴィデュアル・タイムトライアル・レース インディヴィデュアル・タイムトライアルにおける距離の基準は以下のとおり。		インディヴィデュアル・タイムトライアル・レース インディヴィデュアル・タイムトライアルにおける距離の基準は以下のとおり。			
	カテゴリ	世界選手権大会および オリンピック競技大会	その他の競技大会にお ける最大距離	カテゴリ	世界選手権大会および オリンピック競技大会	その他の競技大会にお ける最大距離
	男子	~	~	男子	~	~
	B	~	35 km	B	~	35 km
	C5	~	30 km	C5	~	30 km
	C4	~	30 km	C4	~	30 km
	C3	~	26 km	C3	~	30 km
	C2	~	25 km	C2	~	25 km
	C1	~	25 km	C1	~	25 km
	T2	~	20 km	T2	~	20 km
	T1	~	15 km	T1	~	15 km
	H4	~	30 km	H5	~	30 km
	H3	~	30 km	H4	~	30 km
	H2	~	30 km	H3	~	30 km
	H1	~	20 km	H2	~	20 km
	H1	~	20 km	H1	~	20 km
	女子	~	~	女子	~	~
	B	~	30 km	B	~	30 km
	C5	~	25 km	C5	~	25 km
	C4	~	25 km	C4	~	25 km
	C3	~	20 km	C3	~	25 km
	C2	~	20 km	C2	~	20 km
	C1	~	20 km	C1	~	20 km
	T2	~	15 km	T2	~	15 km
	T1	~	15 km	T1	~	15 km
	H4	~	30 km	H5	~	30 km
	H3	~	20 km	H4	~	20 km
	H2	~	20 km	H3	~	20 km
	H1	~	20 km	H2	~	20 km
	H1	~	20 km	H1	~	20 km

第29条	(シクロクロス種目) 2. 競技の周回数は、通常は先頭の競技者が2周回を完了する時間により決定する。第3周回以降は、フィニッシュラインにおいて残り周回数を掲示する。	(シクロクロス種目) 競技の周回数は、通常は先頭の競技者の周回時間を基に決定する。最終周回はベルにより示す。
第30条	(マウンテンバイク種目) 3. 本連盟または加盟団体の主催する競技大会で実施するマウンテンバイクの競技種目は ② ダウンヒル: DH (ダウンヒル) インディヴィデュアル・ダウンヒル: DHI マッドスタート・ダウンヒル: DHM ④	(マウンテンバイク種目) 本連盟または加盟団体の主催する競技大会で実施するマウンテンバイクの競技種目は ダウンヒル: DH (ダウンヒル) ダウンヒル・インディヴィデュアル: DHI ダウンヒル・マラソン: DHM エンデュуро

7.	(タンデム・パイロット) UCI登録チームのメンバーであるプロフェッショナル競技者はタンデム・パイロットとして参加することはできない。UCIプロチームあるいはUCIコンチネンタル・プロフェッショナル・チームのメンバーであった競技者は、タンデム・パイロットとして参加するまでに、契約を満了してから36ヶ月の待機期間を尊重しなければならない。この待機期間は、UCI規則条項1.1.041に記述されるその他のUCIチームのメンバーであった競技者については24ヶ月とする。18歳以上の男子および女子の競技者は、下記競技大会(すべての種目を含む)のうちのひとつに、所属する国内連盟から選抜されたことがないという条件の下に、タンデム・パイロットとして競技できる。 - UCI 世界選手権大会(マスターズを除く)、オリンピック競技大会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少なくとも36ヶ月以内 - UCI ワールドカップ、地域大会または大陸選手権大会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少なくとも24ヶ月以内 盲人あるいは視覚障害者の各競技者は、UCI競技大会に最多1名のパイロットを認められる。 (チーム・リレイ) 15. 下記の区分の競技者によるレースである: 男子 - H4; H3; H2; H1 女子 - H4; H3; H2; H1 チームは3名の競技者と補欠により構成される。チームは、混成とすることができるが、上記の区分からの競技者で構成するものとする。 すべてのパラ・サイクリングのチーム・リレイ競技において、すべての与えられた構成(ナショナル・チーム、トレード・チーム、...)において最多2チームであるものとする。各構成において、それがすべて女性のチームの場合のみ、3番目のチームが登録される。以下の表から見るとおり、3人のチーム・リレイ参加者のためのポイント合計は1ポイントの1競技者を含めて、最大6ポイントでなければならない。	(タンデム・パイロット) UCI登録チームのメンバーであるプロフェッショナル競技者はタンデム・パイロットとして参加することはできない。UCIプロチームあるいはUCIコンチネンタル・プロフェッショナル・チームのメンバーであった競技者は、タンデム・パイロットとして参加するまでに、契約を満了してから24ヶ月の待機期間を尊重しなければならない。この待機期間は、UCI規則条項1.1.041に記述されるその他のUCIチームのメンバーであった競技者については12ヶ月とする。18歳以上の男子および女子の競技者は、下記競技大会(すべての種目を含む)のうちのひとつに、所属する国内連盟から選抜されたことがないという条件の下に、タンデム・パイロットとして競技できる。 - UCI 世界選手権大会(マスターズを除く)、オリンピック競技大会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少なくとも24ヶ月以内 - UCI ワールドカップ、地域大会または大陸選手権大会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少なくとも12ヶ月以内 盲人あるいは視覚障害者の各競技者は、UCI競技大会に最多1名のパイロットを認められる。 (チーム・リレイ) 下記の区分の競技者によるレースである: 男子 - H4; H3; H2; H1 女子 - H4; H3; H2; H1 チームは3名の競技者と補欠により構成される。チームは、混成とすることができるが、上記の区分からの競技者で構成するものとする。 すべてのパラ・サイクリングのチーム・リレイ競技において、すべての与えられた構成(ナショナル・チーム、トレード・チーム、...)において最多2チームであるものとする。各構成において、それがすべて女性のチームの場合のみ、3番目のチームが登録される。以下の表から見るとおり、3人のチーム・リレイ参加者のためのポイント合計は1ポイントの1競技者を含めて、最大6ポイントでなければならない。				
	性別、クラスおよび区分	ポイント	性別、クラスおよび区分	ポイント	性別、クラスおよび区分	ポイント
	男子 H4	3	女子 H4	2	男子 H5	3
	男子 H3	2	女子 H3	2	女子 H5	2
	男子 H2	2	女子 H2	1	男子 H4	3
	男子 H1	1	女子 H1	1	女子 H4	2
					男子 H3	2
					女子 H3	1
					男子 H2	1
					女子 H2	1
					男子 H1	1
					女子 H1	1
26.	(スクラッチ・レース) トラックパラサイクリングのスクラッチ・レースに、第47条および下記を、下記条項を除いて適用する。 各スポーツ・クラスは下記距離で行なう: 性別、クラスおよび区分	距離	性別、クラスおよび区分	ポイント	性別、クラスおよび区分	ポイント
	男子自転車 - C5; C4; C3; C2; C1	15 km	男子 H5	3	女子 H5	2
	女子自転車 - C5; C4; C3; C2; C1	10 km	男子 H4	3	女子 H4	2
			男子 H3	2	女子 H3	1
			男子 H2	1	女子 H2	1
			男子 H1	1	女子 H1	1
27.	(競技機材) IPCロードレースにおけるすべての機材クラスおよび区分において、競技者は自身の下記に示す正しい区分色あるいは適切な色彩のカバーを使用したヘルメットを着用しなければならない。 赤ヘルメット:	C5 男子および女子 T2 男子および女子 H3 男子および女子 タンデム男子	(競技機材) IPCロード競技におけるすべてのスポーツ・クラスにおいて、競技者は自身の下記に示す正しいスポーツ・クラス色あるいは適切な色彩のカバーを使用したヘルメットを着用しなければならない。 赤ヘルメット:	C5 男子および女子 T2 男子 H4 男子および女子 タンデム男子		

<p>5. 他のカテゴリの競技のゲートに入る、自身のカテゴリのゲートあるいは矢印をとばす、あるいは正しい順番でゲートあるいは矢印を乗車しない(5点).</p>	<p>- 手首までの手(手が触れている場合はハンドルバーも含まれる)。 複数箇所支点を取った場合に、ポイントは累積される。からだの一部または複数箇所が障害物または地面に接触した場合、ペナルティ・ポイントを科される。競技者のバランスを取戻すことにならない自転車の一部の地面または障害物への接触は許される。 バイク・トライアルの動作中に重量をかけずに自転車または体の一部が触れてこすること、スタンド・スティルは許される。片足で一点で回転することは許される。 他のカテゴリの競技のゲートに入る、自身のカテゴリのゲートあるいは矢印をとばす、あるいは正しい順番でゲートあるいは矢印を乗車しない(5点)。 同じ数字のついた2つの矢印の間のラインが、矢印の意味どおりに越えられる場合のみ、ゲート通過となる。いったんゲートを通し、それが逆方向で越えたなら、競技者は再び(矢印の正しい意味に従って)それを通過する必要がある。 矢印と次のテープの間のラインが、矢印の意味どおりに越えられる場合のみ、矢印通過となる。いったん矢印を通し、それが逆方向で越えたなら、競技者は再び(矢印の正しい意味に従って)それを通過する必要がある。 少なくともひとつの車輪軸が矢印の高さあるいはゲートラインを越えた場合のみ有効な通過とされる。両車輪が矢印高さより低くラインを越えた場合、まだ通過していないとされる。</p>
---	--

第21章 パラサイクリング

<p>第97条 (パラサイクリング)</p> <p>1. パラサイクリング競技には、UCI規則第16部において定義された、パラサイクリング・スポーツ・クラス・プロフィールを持つ競技者が参加資格を有する。</p> <p>5. パラサイクリング・クラス分けの目的は、競技における競技者の成功がトレーニング、体育学、および個人的な運動競技の才能に頼ることができるように、競技結果上の損傷の影響を最小限にすることである。クラス分けは進行中の手順である。すべての競技者が、競技者のための一貫性と公平性を確かなものとするためのクラシファイアによる、規則的な観察下におかれる手段としての進行中のプロセスである。</p> <p>この目的を達成するために、競技者が彼らの損傷に起因する活動限界の程度に従ってクラス分けされる。競技者は、彼らの損傷が自転車競技における能力の核となる決定因子にどの位影響するかに従って位置づけられる。クラス分けには2つの重要な役割がある:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 競技の適性を決定するため; そして ● 競技のために競技者をグループにするため。 <p>6. パラサイクリング・スポーツ・クラスは以下のとおり:</p> <table border="1" data-bbox="212 1387 638 1473"> <tr> <td>ハンドバイク</td> <td>トライサイクル</td> <td>自転車競技</td> <td>タンDEM</td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H1</td> <td>トライサイクル・クラス T1</td> <td>自転車競技・クラス C1</td> <td>タンDEM・クラス B</td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H2</td> <td>トライサイクル・クラス T2</td> <td>自転車競技・クラス C2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H3</td> <td>トライサイクル・クラス T3</td> <td>自転車競技・クラス C3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H4</td> <td></td> <td>自転車競技・クラス C4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>自転車競技・クラス C5</td> <td></td> </tr> </table>	ハンドバイク	トライサイクル	自転車競技	タンDEM	ハンドバイク・クラス H1	トライサイクル・クラス T1	自転車競技・クラス C1	タンDEM・クラス B	ハンドバイク・クラス H2	トライサイクル・クラス T2	自転車競技・クラス C2		ハンドバイク・クラス H3	トライサイクル・クラス T3	自転車競技・クラス C3		ハンドバイク・クラス H4		自転車競技・クラス C4				自転車競技・クラス C5		<p>(パラサイクリング)</p> <p>パラサイクリング競技には、UCI規則第16部において定義された、パラサイクリング・スポーツ・クラス・プロフィールを持つ競技者のみが参加資格を有する。</p> <p>(クラス分け)</p> <p>障害を持ついかなる競技者も、彼がクラス分けシステムに従って適格であるか、または彼が不適格(NE)と考えられるかどうかを決定するために、以下に定められたクラス分け手続に従って評価されなければならない。</p> <p>彼が適格であれば、機能クラスはこの章に従って割り当てられる。</p> <p>パラサイクリング・クラス分けの目的は、競技における競技者の成功がトレーニング、体育学、および個人的な運動競技の才能に頼ることができるように、競技結果上の損傷の影響を最小限にすることである。クラス分けは進行中の手順である。すべての競技者が、競技者のための一貫性と公平性を確かなものとするためのクラシファイアによる、規則的な観察下におかれる手段としての進行中のプロセスである。</p> <p>この目的を達成するために、競技者が彼らの損傷に起因する活動限界の程度に従ってクラス分けされる。競技者は、彼らの損傷が自転車競技における能力の核となる決定因子にどの位影響するかに従って位置づけられる。クラス分けには2つの重要な役割がある:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 競技の適性を決定するため; そして ● 競技のために競技者をグループにするため。 <p>パラサイクリング・スポーツ・クラスは以下のとおり:</p> <table border="1" data-bbox="660 1387 1086 1473"> <tr> <td>ハンドバイク</td> <td>トライサイクル</td> <td>自転車競技</td> <td>タンDEM</td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H1</td> <td>トライサイクル・クラス T1</td> <td>自転車競技・クラス C1</td> <td>タンDEM・クラス B</td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H2</td> <td>トライサイクル・クラス T2</td> <td>自転車競技・クラス C2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H3</td> <td>トライサイクル・クラス T3</td> <td>自転車競技・クラス C3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H4</td> <td></td> <td>自転車競技・クラス C4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドバイク・クラス H5</td> <td></td> <td>自転車競技・クラス C5</td> <td></td> </tr> </table>	ハンドバイク	トライサイクル	自転車競技	タンDEM	ハンドバイク・クラス H1	トライサイクル・クラス T1	自転車競技・クラス C1	タンDEM・クラス B	ハンドバイク・クラス H2	トライサイクル・クラス T2	自転車競技・クラス C2		ハンドバイク・クラス H3	トライサイクル・クラス T3	自転車競技・クラス C3		ハンドバイク・クラス H4		自転車競技・クラス C4		ハンドバイク・クラス H5		自転車競技・クラス C5	
ハンドバイク	トライサイクル	自転車競技	タンDEM																																														
ハンドバイク・クラス H1	トライサイクル・クラス T1	自転車競技・クラス C1	タンDEM・クラス B																																														
ハンドバイク・クラス H2	トライサイクル・クラス T2	自転車競技・クラス C2																																															
ハンドバイク・クラス H3	トライサイクル・クラス T3	自転車競技・クラス C3																																															
ハンドバイク・クラス H4		自転車競技・クラス C4																																															
		自転車競技・クラス C5																																															
ハンドバイク	トライサイクル	自転車競技	タンDEM																																														
ハンドバイク・クラス H1	トライサイクル・クラス T1	自転車競技・クラス C1	タンDEM・クラス B																																														
ハンドバイク・クラス H2	トライサイクル・クラス T2	自転車競技・クラス C2																																															
ハンドバイク・クラス H3	トライサイクル・クラス T3	自転車競技・クラス C3																																															
ハンドバイク・クラス H4		自転車競技・クラス C4																																															
ハンドバイク・クラス H5		自転車競技・クラス C5																																															

<p>第9章 制裁</p>		
<p>第37条</p>	<p>(罰則表)</p> <p>ロードレース等の罰則は、ペナルティ表に定める。ただし、国内競技については本連盟が、表中の「その他の競技」の欄に規定するより低額の罰金を設定できる。</p>	<p>(罰則表)</p> <p>罰則は、ペナルティ表に定める。ただし、国内競技については本連盟が、表中の「その他の競技」の欄に規定するより低位のペナルティを設定できる。</p>
<p>第39条</p> <p>2.</p>	<p>(異議申立ての制限時間)</p> <p>ロードレースにおける異議申立ては、フィニッシュ制限時刻または最後の競技者のフィニッシュ後、30分以内に提出しなければならない。コミセール・パネルのそれ以前の決定あるいは順位に対する異議申立ては、決定が下されなければならぬ。ステージレースの順位に関する異議申立ては、次のステージのスタート以前に提出しなければならない。</p>	<p>(異議申立ての制限時間)</p> <p>異議申立ては、フィニッシュ制限時刻または最後の競技者のフィニッシュ後、30分以内に提出しなければならない。コミセール・パネルのそれ以前の決定あるいは順位に対する異議申立ては、決定が下されなければならぬ。ステージレースの順位に関する異議申立ては、次のステージのスタート以前に提出しなければならない。</p>

第11章 競技大会の開催および準備

<p>第41条</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <p>(1)</p>	<p>(競技大会・競技日程)</p> <p>(競技日程の申請と作成の期日)</p> <p>競技日程は、毎年、歴年あるいは競技シーズンに合わせて作成する。</p> <p>加盟団体および国内の競技大会主催者は、次年度に開催する競技大会について11月30日までに本連盟に申請する。ただし、シクロクロスについては当該年度の5月31日までに申請する。</p> <p>本連盟は、国内競技日程を12月末までに作成する。ただし、原則としてロードレースの国内選手権大会の日として6月の最終週中、シクロクロスの国内選手権大会の日としてUCI理事会が認可した日、マウンテンバイクの国内選手権大会の日として第29週末、BMX国内選手権大会の日として7月の第1週末を留保する。</p> <p>(国際競技大会の開催申請)</p> <p>競技大会主催者は本連盟に、世界あるいは大陸競技日程に登録されるべき競技大会を申請する。</p> <p>(公認競技大会)</p> <p>競技担当役員は、本連盟公認審判員で構成する(最少3名の2級以上を含む)。大会規模および分類によって、本連盟競技規則第46条~51条および53条~62条に準じて構成する。</p>	<p>(競技大会・競技日程)</p> <p>(競技日程の申請と作成の期日)</p> <p>競技日程は、毎年、歴年あるいは競技シーズンに合わせて作成する。</p> <p>加盟団体および国内の競技大会主催者は、次年度に開催する競技大会について11月30日までに本連盟に申請する。ただし、シクロクロスについては当該年度の5月31日までに申請する。</p> <p>本連盟は、国内競技日程を12月末までに作成する。ただし、原則としてロードレースの国内選手権大会の日として6月の最終週中、シクロクロスの国内選手権大会の日として第29週末、BMX国内選手権大会の日として7月の第1週末を留保する。トライアル国内選手権大会は6月の最終週末に行わなければならない。しかしながら、マウンテンバイク国内選手権大会とともに開催できるなら、第29週末となる。</p> <p>(国際競技大会の開催申請)</p> <p>競技大会主催者は本連盟に、世界あるいは大陸競技日程に登録されるべき競技大会を申請する。3つ以上の国外連盟の競技者が参加した国内競技日程に登録されたシクロクロス、マウンテンバイクまたはBMX競技の主催者、2つ以上の国外連盟の競技者が参加したトラック競技、トライアル、室内自転車競技の主催者は、その次の競技大会を国際競技日程に含めることを要請しなければならない。国際競技日程に含まれることが拒否された場合を除き、その競技は国内競技日程に含まれてはならない。</p> <p>本連盟は、UCIと当該大陸連盟に、競技部門ごとにUCIの指定する期限までに申請書を提出する。申請期限は、ロードレースは6月1日、室内自転車競技、パラサイクリングおよびサイクリング・フォア・オールは7月1日、マウンテンバイク、BMX、トライアルは7月の最終金曜、トラックおよびシクロクロスは12月15日である。</p> <p>(公認競技大会)</p> <p>競技担当役員は、本連盟公認審判員で構成する(ロード、トラック、シクロクロス競技部門においては最少3名の2級以上を含む)。競技部門、大会規模および分類によって、本連盟競技規則第46条~51条および53条~62条に準じて構成する。</p>
--	---	--

第13章 総務および競技担当役員の仕事

<p>第55条</p>	<p>(アピールパネル)</p> <p>アピールパネルの任務は、以下のとおりとし、主として、競技大会の競技面を監督管理する。ただし、国際競技大</p>	<p>(削除)</p>
-------------	---	-------------

	<p>会においてはチーフ・コミセールが競技運営の責任者となり、競技大会における裁定の最終責任者となる。</p> <p>1. アビール・パネルのメンバーは競技大会のすべての面において、コミセール、審判員らと接触を保つ。アビール・パネルのメンバーは競技のいかなる細部をも監視してはならない。</p> <p>2. コミセール・パネルの決定に対し異議申立てがなされた場合、アビール・パネルが最終の裁定を下す。</p> <p>(1) アビール・パネルはコミセールによる決定がUCI規則、本連盟競技規則の条項に基づいているかどうかを確認し、またその違反が具体的に証明されているか否かを確認することを義務とする。</p> <p>(2) アビール・パネルは、コミセールが違反に対して下した決定が上記の2つの条件にかなっていると認められた場合、コミセールの決定を承認する。</p> <p>(3) アビール・パネルは、競走を再スタートさせる権限はないが、コミセールが競走の過程において再スタートを命じない場合、パネルはその異議申立てが条件にかなっている場合、コミセールにその意見を表明する。</p> <p>3. コミセールの決定に正当な理由がある場合、アビール・パネルは罰則を重くしたり軽くしたりして修正することは許されない。</p>	<p>(チーフ・コミセール)</p> <p>チーフ・コミセールは、コミセール・パネルの責任者であり、競技の審判と進行を総括する。ロード・レースなどで特にレース・ディレクタをおく場合以外は、チーフ・コミセールが競技進行に関し指示する。</p> <p>規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>次の任務にあたる:</p> <p>ライセンス・コントロールの責任者となる。</p> <p>各競技の開始前に、周回板、ベル、各種電気・電子装置、その他競技に必要な器材の準備が整っているかを確認する。</p> <p>コミセール、アシスタント・コミセールに任務分担を指示する。</p> <p>各コミセール、アシスタント・コミセールが所定の位置にいたかを確認する。</p> <p>ロード・レースにおいては前記に加え次の任務にあたる:</p> <p>通常はレース・ディレクタの任務も併せて務める。</p> <p>審判車No.11に乗りし、競技の進行について監督管理する。必要に応じ、レース・ディレクタ車を設定する。</p> <p>ピット、チェック・ポイント、整備・安全施設等が、全行程にわたって設置されていることを確認するか、自らの責任において確認させる。</p> <p>各競技担当役員が所定の配置につき、各車両、機材の準備が整っているか確認するか、自らの責任において確認させる。</p> <p>タイムトライアル・ロード・レースにおいては前記に加え次の任務にあたる:</p> <p>予期しない追いつき、追い越しが起こらないよう競技の進行について監督管理する。</p> <p>必要があれば審判車を使用して監察する。</p>
第56条	<p>(チーフ・コミセール)</p> <p>1. チーフ・コミセールは、コミセール・パネルの責任者であり、競技の審判と進行を総括する。ロード・レースなどで特にレース・ディレクタをおく場合以外は、チーフ・コミセールが競技進行に関し指示する。</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>4.</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>5.</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>(チーフ・コミセール)</p> <p>チーフ・コミセールは、コミセール・パネルの責任者であり、競技の審判と進行を総括する。ロード・レースなどで特にレース・ディレクタをおく場合以外は、チーフ・コミセールが競技進行に関し指示する。</p> <p>規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>次の任務にあたる:</p> <p>ライセンス・コントロールの責任者となる。</p> <p>各競技の開始前に、周回板、ベル、各種電気・電子装置、その他競技に必要な器材の準備が整っているかを確認する。</p> <p>コミセール、アシスタント・コミセールに任務分担を指示する。</p> <p>各コミセール、アシスタント・コミセールが所定の位置にいたかを確認する。</p> <p>ロード・レースにおいては前記に加え次の任務にあたる:</p> <p>通常はレース・ディレクタの任務も併せて務める。</p> <p>審判車No.11に乗りし、競技の進行について監督管理する。必要に応じ、レース・ディレクタ車を設定する。</p> <p>ピット、チェック・ポイント、整備・安全施設等が、全行程にわたって設置されていることを確認するか、自らの責任において確認させる。</p> <p>各競技担当役員が所定の配置につき、各車両、機材の準備が整っているか確認するか、自らの責任において確認させる。</p> <p>タイムトライアル・ロード・レースにおいては前記に加え次の任務にあたる:</p> <p>予期しない追いつき、追い越しが起こらないよう競技の進行について監督管理する。</p> <p>必要があれば審判車を使用して監察する。</p>
第57条	<p>(コミセール・パネル)</p> <p>2. コミセールは、違反行為と、その権限において科したペナルティを記録しなければならない。各コミセールは個々に、違反を監視し、それらを署名した報告書に記録する。</p>	<p>(コミセール・パネル)</p> <p>コミセール・パネルはレース運営の中で実質的なものに就いた場合はそれを是正しなければならない。</p> <p>コミセールは違反を記録し、自己の権限の範囲でペナル</p>

	<p>A. UCI_BMX ランキング(適用できるレベル)によるシーディング;</p> <p>B. タイムトライアルを用いてシーディングする。</p> <p>10. 規則違反、ペナルティおよび異議申し立て</p> <p>(2) ペナルティ</p> <p>2. 降格</p> <p>競技者は、レースの実際のフィニッシュ順と異なる順位とされ、「降格」(REL)と記録される。チーフ・コミセールは違反の重大性に基づき競技者の順位について決定できる。</p> <p>3. 競技者の失格</p> <p>競技者は失格となり、これにより、違反を犯した競技カテゴリーあるいは競技大会のすべてのレースには出場することができない。競技者は結果要約において順位付けされず、この競技のランキング・ポイントを得られない。</p> <p>4. 競技会場からの違反者除外</p> <p>コミセール・パネルは、この規則書に定める条文に対する違反に対し、競技会場からの違反者除外を決定しなければならない。</p> <p>UCIは、独自の裁量により、BMX大会で競技を行う権利を競技者に与えるライセンスを、任意の期間、あるいは、永久に取り消すことができる。下記の違反がライセンス停止の理由となる:</p> <p>a. 偽名で競技を行った場合。</p> <p>b. レースの登録時に、不正な有利となるために、年齢、クラス等に関して、虚偽の情報を使用した場合。</p> <p>c. レースの結果をあらかじめ決めるために、他の1名以上の競技者と共謀した場合。</p> <p>d. 他の人物(BMX大会の競技者、コミセール、オフィシャルならびに観客を含むが、これらに限定されない)から、または、他の人物に、レースの結果に影響を与えるための賄賂または他の勧誘手段を直接または間接に提供、供与または受領した場合。</p> <p>e. ラップタイム・スコアリング・システム機器を変えたり、取り外したり、干渉したり、あるいは正確に対応しないものを付けることも含んで、競技規則に適合しない自転車を手動でエントリしたり、その自転車で競技を行った場合。</p> <p>f. 検査後に、競技規則の違反となるような自転車の改造を行った場合。</p> <p>g. 特定の大会に関係しているか否かを問わず、BMX競技に不利ななんらかの不正な所行、不品行あるいは行為に係った場合。</p>	<p>A. UCI_BMX ランキング(適用できるレベル)によるシーディング;</p> <p>B. タイムトライアルを用いてシーディングする。</p> <p>C. ランダム・シーディング</p> <p>D. 予選モトの結果によるシーディング</p> <p>規則違反、ペナルティおよび異議申し立て</p> <p>ペナルティ</p> <p>降格</p> <p>競技者は、「降格」(REL)とされ、モトにスタートした競技者数に2を加えて記録される。</p> <p>競技者の失格</p> <p>競技者は失格となり、これにより、違反を犯した競技カテゴリーあるいは競技大会のすべてのレースには出場することができない。競技者は結果要約において順位付けされず、この競技のランキング・ポイントを得られない。</p> <p>競技会場からの違反者除外</p> <p>コミセール・パネルは、この規則書に定める条文に対する違反に対し、その唯一の裁量において競技会場からの違反者除外する権限を持つ。</p> <p>UCIは、独自の裁量により、BMX大会で競技を行う権利を競技者に与えるライセンスを、任意の期間、あるいは、永久に取り消すことができる。下記の違反がライセンス停止の理由となる:</p> <p>a. 偽名で競技を行った場合。</p> <p>b. レースの登録時に、不正な有利となるために、年齢、クラス等に関して、虚偽の情報を使用した場合。</p> <p>c. レースの結果をあらかじめ決めるために、他の1名以上の競技者と共謀した場合。</p> <p>d. 他の人物(BMX大会の競技者、コミセール、オフィシャルならびに観客を含むが、これらに限定されない)から、または、他の人物に、レースの結果に影響を与えるための賄賂または他の勧誘手段を直接または間接に提供、供与または受領した場合。</p> <p>e. ラップタイム・スコアリング・システム機器を変えたり、取り外したり、干渉したり、あるいは正確に対応しないものを付けることも含んで、競技規則に適合しない自転車を手動でエントリしたり、その自転車で競技を行った場合。</p> <p>f. 検査後に、競技規則の違反となるような自転車の改造を行った場合。</p> <p>g. 特定の大会に関係しているか否かを問わず、BMX競技に不利ななんらかの不正な所行、不品行あるいは行為に係った場合。</p>
第20章 トライアル競技規則		
第96条	<p>(トライアル規則)</p> <p>2. 競技規則</p> <p>(4) スタートと乗車の規則</p> <p>(9) ペナルティ点数</p> <p>① セクションにおいて下記のペナルティ点を累積的に競技者に科すことができる:</p> <p>1. からだの一部あるいはタイヤの範囲外のトライアルバイクの一部で、競技者のバランスを取り戻すために、障害物または地面に支点をとる(1点)。バイク・トライアルの動作中にこすこと、スタンド・スティルは許される。片足で一点で回転することは許される。</p>	<p>(トライアル規則)</p> <p>競技規則</p> <p>スタートと乗車の規則</p> <p>ペナルティ点数</p> <p>セクションにおいて下記のペナルティ点を累積的に競技者に科すことができる:</p> <p>1. からだの一部あるいはタイヤの範囲外のトライアルバイクの一部で、競技者のバランスを取り戻すために、障害物または地面に支点をとる(1点)。</p> <p>からだは4部分に分けられる:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 足首までの足; - 足首から腰までの間; - 腰から腕と頭を含む上部;

	<p>グリーン：コースに障害物がなく、レースを続行できる。 イエロー：コースに障害物があり、レース参加競技者はゲートで待機する。 レッド：トラック上の競技者は、即座に停止してスタート・ゲートに戻り、その後の指示を待つ。</p>	<p>のみにより使用される。これらの旗の意味は下記のものとする： グリーン：コースに障害物がなく、レースを続行できる。 イエロー：コースに障害物があり、レース参加競技者はゲートで待機する。 レッド：トラック上の競技者は、即座に停止してスタート・ゲートに戻り、その後の指示を待つ。 衣服および安全装備 検査 検査員あるいはレース・コミセールが競技者の装備について安全性に欠けると判断した場合には、それが本規則のなんらかの特定の規定に違反しているか否かを問わず、当該競技者はトラック上で競技を行うことはできない。 すべての競技者は、トリムとスタイルにおいてBMXタイプの衣服および他の自転車競技部門とまったく異なる衣類を着用しなければならない。 検査員またはレース・コミセールが装備に関して競技者に与えたすべての指示に従わない競技者は、いかなる競技にも出場することは許可されない。</p>
7. 衣服および安全装備		
(1) 検査		
2. 検査員あるいはレース・コミセールが競技者の装備について安全性に欠けると判断した場合には、それが本規則のなんらかの特定の規定に違反しているか否かを問わず、当該競技者はトラック上で競技を行うことはできない。		
3. 検査員またはレース・コミセールが装備に関して競技者に与えたすべての指示に従わない競技者は、いかなる競技にも出場することは許可されない。		
(3) ジャージ		
1. ジャージは競技者の手首の下まで伸びる密着しない長袖のものでなければならない。伸縮性の生地は許可されない。		
2. ジャージの生地は、それを伸ばすことなく最小3cm二重にできる十分な余裕がなければならない。これは人差し指と親指とで挟むことにより計測する。		
3. ジャージは邪魔にならないようにパンツに押し込まなければならない。		
(4) パンツ		
1. パンツは防滴素材で作られた密着しないロング・パンツとする。伸縮性の生地は許可されない。パンツの生地は、それを伸ばすことなく最小6cm二重にできる十分な余裕がなければならない。これは人差し指と親指とで挟むことにより計測する。		
2. 膝の保護から完全にすね、あるいは足首の上部まで伸びる、硬い表面を持つ膝と肌のプロテクタを用いる場合、防滴素材で作られたショート・パンツは許可される。パンツの下、あるいは膝の反故でない限り、伸縮性素材は許可されない。パンツの生地は、それを伸ばすことなく最小6cm二重にできる十分な余裕がなければならない。これは人差し指と親指とで挟むことにより計測する。		
3. パンツは1体の構成で、腰部でジャージと分かれていなければならない。ワンピース・スキンスーツは許可されない。		
9. シーディング		
(1) 一般原則		
2. 以下のうち一方法でシーディングする：		

	<p>のみにより使用される。これらの旗の意味は下記のものとする： グリーン：コースに障害物がなく、レースを続行できる。 イエロー：コースに障害物があり、レース参加競技者はゲートで待機する。 レッド：トラック上の競技者は、即座に停止してスタート・ゲートに戻り、その後の指示を待つ。 衣服および安全装備 検査 検査員あるいはレース・コミセールが競技者の装備について安全性に欠けると判断した場合には、それが本規則のなんらかの特定の規定に違反しているか否かを問わず、当該競技者はトラック上で競技を行うことはできない。 すべての競技者は、トリムとスタイルにおいてBMXタイプの衣服および他の自転車競技部門とまったく異なる衣類を着用しなければならない。 検査員またはレース・コミセールが装備に関して競技者に与えたすべての指示に従わない競技者は、いかなる競技にも出場することは許可されず、彼の装備の不適合が気づかれるならばチーフ・コミセールにより、降格されるか、失格とされる。 ジャージ ジャージは競技者の手首の下まで伸びる密着しない長袖のものでなければならない。 BMX ジャージとして下記は許可されない： - 伸縮性生地 - 腰よりのジッパー - 後部ポケット - ロード/トラック用のジャージ ジャージは邪魔にならないようにスタート前にパンツに押し込まなければならない。 パンツ パンツは防滴素材で作られた密着しないロング・パンツとする。 膝の保護から完全にすね、あるいは足首の上部まで伸びる、硬い表面を持つ膝と肌のプロテクタを用いる場合、防滴素材で作られたショート・パンツは許可される。パンツの下、あるいは膝の反故でない限り、伸縮性素材は許可されない。 パンツは1体の構成で、腰部でジャージと分かれていなければならない。 以下の品目は BMX パンツとして許されない： - ワンピース・スキンスーツ - 足をカバーするために伸びる必要があるきつフィットしたパンツ - 伸縮性生地のパンツ - 陸上競技用/ジョギングパンツ - ロード/トラック競技用パンツ - デニム / ジーンズ シーディング 一般原則 以下のうち一方法でシーディングする：</p>
--	--

	<p>コミセールの報告書は、最終的な監視した事実で構成される。 ペナルティはコミセール・パネルの多数決により宣言される。 コミセール・パネルは、その解散の瞬間までに気付いた違反に関して意見を言うことができる。</p>	<p>ティを科すことができる。 コミセールは、違反行為と、その権限において科したペナルティを記録しなければならない。各コミセールは個々に、違反を監視し、それらを署名した報告書に記録する。コミセールの報告書は、最終的な監視した事実で構成される。 ペナルティはコミセール・パネルにより宣言される。 コミセール・パネルは、その解散の瞬間までに気付いた違反に関して意見を言うことができる。 各コミセールは個々に下記の手段を講じることができる。 警告、糾弾を与えることができる。 以上の決定は署名した報告書によりなされる。</p>
3.	各コミセールは個々に下記の手段を講じることができる。	
②	警告、糾弾を与えることができる。	
6.	以上の決定は署名した報告書によりなされる。	
8.		
①		
②		
③		
①		
②		
③		
10.		
①		
②		
③		
11.		
①		
②		
③		
第58条	<p>(アシスタント・コミセール) アシスタント・コミセールは、競技大会の管理者が指名し総務委員長、競技委員長が承認する。その任務として、</p>	<p>(コミセールおよびアシスタント・コミセール) アシスタント・コミセールは、競技大会の管理者が指名し総務委員長、競技委員長が承認する。その任務として、</p>

チーフ・コミセールの指示に従い審判業務にあたる。アシスタント・コミセールが、当該競技大会の前日に不在の場合、コミセールは、必要な指示すべてを与えるために、競技の開始前にアシスタント・コミセールの会議を開く。

1.

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

2.

①

②

③

④

3.

①

②

③

④

チーフ・コミセールの指示に従い審判業務にあたる。アシスタント・コミセールが、当該競技大会の前日に不在の場合、コミセールは、必要な指示すべてを与えるために、競技の開始前にアシスタント・コミセールの会議を開く。

スタータ(出発合図・出発の判定)

スタータはコミセールの中から選任する。

スタータは参加全競技者が、招集されているか否かを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。

スタータのみが、スタートの有効性を判定できる。

スタートは、大きい音を出すピストルによるか、あるいは、笛、旗またはベルを使用して行う。スタートが無効の場合にはピストル、笛またはベルによって合図する。

スタータおよびスタート・ジャッジは、スタート・ラインに付いた競技者が規定に従った装備をしているか、競技者のゼッケンが定められた位置に正しく付けられているか、競技者は直ちに使用することのできる一對の予備車輪を用意しているか、などの確認をする。

競技に必要な指示を与える。

タイムトライアル・ロード・レースにおいてはフライング秒数を計時・記録する。

ロード・レース等においては名誉スタータを起用することができる。

フィニッシュ・ジャッジ(決勝審判)

コミセールがこの任務にあたる。必要に応じて他の役員の援助を受けることができる。

フィニッシュに関し、着順判定の唯一の責任者である。

フィニッシュ・ラインの手前側の線に垂直な面に自転車の前輪の前端が到達した競技者は、競技を終了したと判定する。ただし、タイムトライアル系のレースのフィニッシュにおいては、前輪タイヤが、フィニッシュ・ライン上の電子計時用スイッチに接触することにより判定してよい。

写真判定機を使用する時、その判定に立ち合う。

・判定写真を検査することができる者は、フィニッシュ・ジャッジ、コミセール・パネルのメンバーとする。

ロード・レースの山岳賞地点等における通過順位を判定する。

タイム・キーパー(計時・時間管理)

競技のタイムを計測する。タイムによって成績を決定する競技は、1/1000秒まで計時しなければならない。

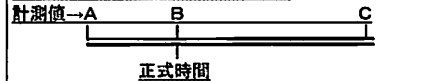
電気・電子計時を使用する場合は、その結果を確認する。

[J]手動計時については、以下の要領による。

手動計時の場合は、3人で計時することを原則とする。計時主任(3人のタイム・キーパーのうち一人が兼ねることができる)は3人の記入した計時用紙をまとめ、次の手順で正式時間を算出し、主任用計時記録用紙に記入する。3人の計時結果が一致した場合はそれを正式時間とする。

2人の計時結果が一致した場合はそれを正式時間とする。

それぞれの計時結果が異なる場合には、3つの計時結果の2番目の値(B)を正式時間とする。



各競技種目規則により、時間競走における競走時間を

7. 8人未満の競技者がカテゴリを構成する場合、3回のモト終了時の総計が最終結果を定義するモトシステムを行う。

3. 競技

(1) 競技

3. BMXレースは3段階で構成される; モト、予選ラウンド(参加者数により1/32, 1/16, 1/8, 1/4 および 1/2決勝), および決勝。

モトは3ラウンドに細分され、その終了時に総合で最良の成績を収めた競技者が予選ラウンドに進出する。

予選ラウンドはレースの除外段階である。決勝から離れる度合いに応じて相互に区別される。いくつかの段階に細分される(参加者数により1/32, 1/16, 1/8, 1/4 および 1/2決勝)。

最終段階は決勝である。

(4) 進出およびスコアリング

6. モトにおいてスタートはしたが、完走しなかった競技者は "Did Not Finish (DNF)" (フィニッシュせず)として記録され、そのモトで出走した競技者の数に等しい得点を得る。この競技者は、進出資格を有する。スタートしたが、コミセールにより最下位に降格された競技者は、「降格 (REL)」として記録される。チーフ・コミセールはこれら競技者の順位を裁定できる。この競技者は進出資格を有する。

4. 競技場

(1) トラック・フラッグ(旗)

トラック・オフィシャルは、下記の色の旗を相互の通信手段ならびにトラック上の競技者に対する通信手段として用いてよい。これらの旗の意味は下記のものとする:

- 競技者は、別個リザルトにおける順位と一致する賞

- 金を授与される。
クラスイベントの組み合わせ例 エリート女子とジュニア女子:

レース結果(順位)	競技者のカテゴリ	UCI ランキングポイント・ジュニア女子	UCI ランキングポイント・エリート女子
1	ジュニア女子	30点(WJ1位)	
2	エリート女子		30点(WE1位)
3	ジュニア女子	30点(WJ2位)	
4	エリート女子		30点(WE2位)

競技

競技

BMX レースは 3 段階で構成される; モト、予選ラウンド(参加者数により 1/32, 1/16, 1/8, 1/4 および 1/2 決勝), および決勝。

モトは 3 ラウンドに細分され、その終了時に総合で最良の成績を収めた競技者が予選ラウンドに進出する。

予選ラウンドはレースの除外段階である。決勝から離れる度合いに応じて相互に区別される。いくつかの段階に細分される(参加者数により 1/32, 1/16, 1/8, 1/4 および 1/2 決勝)。

最終段階は決勝である。

9人未満の競技者が1つのカテゴリを構成している場合、

3回のモト終了時のスコア総計が最終結果を決定する、3回モトシステムがある。

BMX 競技会の終了時に、最終結果を明確にし、UCI ランキングポイントと賞金を与えるため使われる最終順位が決定される。

競技の最終順位(結果要約)は次により決定される:

1. 到達した段階 (決勝, 1/2決勝, 1/4決勝, 1/8 決勝, 1/16 決勝, 1/32 決勝, モト);
2. 到達段階での順位;
3. 到達段階での合計ポイント;
4. 最終走のタイム, 同等の場合は, その前の走行タイムを考慮する。

タイムによっても同等の場合は、それらの競技者は同順位とする。

複数クラスを統合した場合、この結果要約は2つのクラスの結果分割とカテゴリ毎の分割結果作成に使用される。

進出およびスコアリング

モトにおいてスタートはしたが、完走しなかった競技者は "Did Not Finish (DNF)" (フィニッシュせず)として記録され、そのモトで出走した競技者の数に等しい得点を得る。この競技者は、進出資格を有する。スタートしたが、コミセールにより最下位に降格された競技者は、「降格 (REL)」として記録され、モトにスタートした競技者数に2を加えたスコアを与えられる。

競技場

トラック・フラッグ(旗)

トラック・オフィシャルは、下記の色の旗の緑と黄色の旗を相互の通信手段ならびにトラック上の競技者に対する通信手段として用いてよい。赤旗はトラックコミセールの1人

	<p>なければならない。</p> <p>2 各競技者は個別にスタートし、競技者間のスタート間隔は少なくとも20秒なければならない。</p> <p>3 最少3の計時ステージが競われなければならない。 各競技者の合計時間は最小限10分なければならない。</p> <p>4 計時ステージのために、最小限2つの異なるコースが使われなければならない。予期できない例外的な状況(例えば天候)の下で、UCI コミセールは主催者に相談した後に、ステージをキャンセルするか、それを総合順位から除外することができる。</p> <p>5 中継ステージには特性上の制限がまったくない。競技者の頂上への移動は、機械的手段(スキーリフト、トラックなど)によってまたはペダルを踏むか、両方の混合によってよい。</p> <p>6 適正なトレーニングはすべての計時ステージのために主催者によって提供されなければならない。</p> <p>結果</p> <p>1 競技の総合成績は、各競技者において、すべての計時ステージ時間を積算することによって算出される。</p> <p>違反行為</p> <p>1 競技者は常にスポーツマンらしい態度で行動しなければならない。いなかより速い競技者も妨害することなく追い越しを許さなければならない。</p> <p>2 チーフ・コミセールは、違反行為が2つの異なるチームのメンバーである少なくとも2人の競技者によって報告されたならば(例えば技術支援ゾーンの外で援助を受けた競技者、コースをシフティング・マーシャル</p> <p>フライング・マーシャル</p> <p>1 少数の特別な訓練をされたマーシャル、フライング・マーシャルまたはコミセールは、競技中にコース周辺の未公表地点に動くべきである。モーターバイク、ATV、MTBを使用できる。</p> <p>医療サービス</p> <p>1 主催者は適切な医療サービスを設定しなければならない。主催者は緊急連絡先詳細を各競技者に提供しなければならない。</p>	
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

第19章 BMX競技規則	
<p>第95条 (BMX規則)</p> <p>一般規則</p> <p>(1) 参加者の年齢</p> <p>3. 17歳以上の競技者は、シーズン開始時、該当する年齢および性別グループにおいて、チャンピオンシップ、チャレンジまたはマスターズのいずれかのレベルで競技することを選択できる。競技者は同じシーズン中にはチャンピオンシップおよびチャレンジの両方レベルに参加することはできない。</p> <p>(2) 統合規則</p> <p>5 チャンピオンシップレベルの競技クラスはチャレンジレベルの競技カテゴリに統合することはできず、この逆もできない。</p>	<p>(BMX規則)</p> <p>一般規則</p> <p>参加者の年齢</p> <p>17歳以上の競技者は、シーズン開始時、該当する年齢および性別グループにおいて、チャンピオンシップ、チャレンジまたはマスターズのいずれかのレベルで競技することを選択できる。競技者は同じシーズン中にはチャンピオンシップおよびチャレンジの両方レベルに参加することはできない。競技者ライセンスは競技者のカテゴリを示さなければならない。</p> <p>統合規則</p> <p>チャンピオンシップクラス相互あるいはチャレンジとチャンピオンシップクラスは、UCI登録レースにおいて下記を原則として統合できる:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 主催者はテクニカルガイドおよびその国内連盟および競技者への通信において、クラスの組み合わせを免責する。 - リザルトはリザルト要約に基づいた2つの別個のクラスに分割される。 - 競技者は、別個リザルトにおける順位と一致するランキングポイントを得る。

		<p>管理する。この場合ピストル、ベル等によりレース終了を予告する。</p> <p>各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイム・キーパーを配置する。タイム・キーパーは、正規の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助力を得ることができる。</p> <p>タイム・キーパーは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュ・ジャッジに手渡す。</p> <p>アッシャー(招集)</p> <p>競技の出走前に、競技者を確認しスタート・ラインに誘導する。</p> <p>競技規則第8条～第14条に従い、競技者の装備を確認する。</p> <p>競技者を招集場所に集合させ、その後スタート・ラインに誘導する。</p> <p>バイク・インスペクター(自転車検査)</p> <p>競技規則第16条、第17条、第20条、第27条に従い、競技者の自転車が規則に定められている仕様と合致しているかを確認する。</p> <p>競技規則第18条、第19条に従い、ペーサーのオートバイが規則に定められている仕様と合致しているかを確認する。</p> <p>機材ピット、ニュートラル・カーなどに準備される予備自転車についても管理する。</p> <p>補給所、機材ピットが設定される場合には、競技中はそこに位置し、必要事項について管理する。</p> <p>ラップ・カウンター(周回)</p> <p>競技の周回を確認し、周回板で告知する。</p> <p>ロード・レース等において飲食料の補給が許される周回の開始と終了を告知する</p> <p>ベル・リンガー(打鐘)</p> <p>ベルにより最終周回の開始を予告する。</p> <p>IDチェッカー</p> <p>競技場内において、IDカードの管理を行い無用の者を立ち入らせない。</p> <p>コミセール・エリアには、関係者以外立ち入らせないようにする。</p> <p>アピールがあった場合、その文書と共に供託金を受領し、チーフ・コミセールに取り次ぐ。</p> <p>この任務は総務担当役員があたることもできる。</p> <p>アナウンサー(通告)</p> <p>競技進行に必要な通告をする。</p> <p>競技経過・競技結果を通告する。</p> <p>競技者に指示を与える場合、必要があればスタータを補佐する。</p>
	⑤	
	⑥	
	4.	
	①	
	②	
	③	
	5.	
	①	
	②	
	③	
	④	
	6.	
	①	
	②	
	7.	
	①	
	8.	
	①	
	②	
	③	
	④	
	9.	
	①	
	②	
	③	
第59条	(トラック・レース競技担当役員の任務)	<p>(トラック・レース競技担当役員の任務)</p> <p>トラック・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。</p> <p>1 アピール・パネル オペでの競技に立ちあい、たえずコミセールと接触を保持し、競技の細部を監視する。</p> <p>2 チーフ・コミセール</p> <p>① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>② ライセンス・コントロールの責任者となる。</p>

- ④各競技の開始前に、周回板、ペル、各種電気、電子装置、ラバー、パッド等の準備が整っているかを確認する。
- ④コメンサー、アシスタントコメンサーに任務分担を指示する。
- ⑥各コメンサー、アシスタントコメンサーが所定の位置に付いたかを確認する。
- 2. コメンサー・パネルメンバ
 - ①チーフコメンサーを補佐し、その任務を分担する。他の任務との兼任を妨げない。
 - ①チーフコメンサーは、コメンサーパネルのうち1名を判定員に指名しなければならない。チーフコメンサーはこの任務を自身で行うことはできない。判定員はスプリント、ケイリン、ギンバトレース、マデラシ、エリクナイコンおよび速度競走において配座することを義務付ける。
 - ②この判定員は、競技中の競技者の行為とその競技規則の遵守を専門に監視する。この問題において、判定員は単独で適やかにペナルティを科し、あるいは規則の下に必要な決定を行う。判定員は、自ら選択した他のコメンサーまたはその他の人員の助力を得ることができる。
 - ③判定員は、トラックの外側の、トラック全体を見渡せる斜めで隔離された場所に位置しなければならない。彼はチーフコメンサーと直接連絡できる手段を与えられなければならない。レース中の出来事をスロー再生することができるビデオシステムも利用できることが望ましい。このシステムは、チーフコメンサーが非公開で同じ映像を見ることを
- 4. レースセクタリ
 - ①競技大会に関するすべてのコミュニケーション(指示事項、競技成績、競技番組等)を作成する。
 - ②競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技両委員会の作成する事業報告書に収録する。
- 1. スタータ(出発合図・出発の判定)
 - スタータはコメンサーの中から選任する。
 - ①パースユート種目においては、スタータとフィニッシュ・ジャッジはトラック内側の芝生の中央に隣り合って位置する。
 - ②スタータしてそれが正しく行われたと認められたなら、コメンサーはスタート・ラインから人を退去させる。パースユートまたはタイムトライアル種目のコーチとして1名だけがそこに留まることができる。コメンサーはこのコーチが軽率な応援身振りなどを一切しないように注意する。
 - ③スプリント、ケイリン、速度競走等のスタート位置の抽選を行う。
 - ④スターティング・マシンを使用した場合には、その適否を確認する。
 - ⑤競技に必要な指示を与える。
 - ⑥スタートの有効性を30m(種目により1/2周)以内に判定し、対応する。
 - ⑦ハンディキャップスにおけるスタート位置を競技者に示す。
- 3. フィニッシュ・ジャッジ(決勝審判)
 - コメンサーがこの任務にあたる。必要に応じて他の役員からの援助を受けることができる。
 - ④フィニッシュに関し、審判判定の唯一の責任者である。
 - ⑤フィニッシュ・ラインの手前側の線に垂直な面に自転車

スタータ(出発合図・出発の判定)

パースユート種目においては、スタータとフィニッシュ・ジャッジはトラック内側の芝生の中央に隣り合って位置する。

スタータしてそれが正しく行われたと認められたなら、コメンサーはスタート・ラインから人を退去させる。パースユートまたはタイムトライアル種目のコーチとして1名だけがそこに留まることができる。コメンサーはこのコーチが軽率な応援身振りなどを一切しないように注意する。

スプリント、ケイリン、速度競走等のスタート位置の抽選を行う。

スターティング・マシンを使用した場合には、その適否を確認する。

スタートの有効性を30m(種目により1/2周)以内に判定し、対応する。

ハンディキャップスにおけるスタート位置を競技者に示す。

フィニッシュ・ジャッジ(決勝審判)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

- ペダルをふむ登坂、または両方の混合を含むことができる。トラックは、競技者の楽しみ、技術、そして身体的な能力に重点を置かれなければならない。
 - 5. 他のおいかなる方法も例外的な状況の下だけで容認され、UCIから事前認可を条件とする。
 - 技術支援
 - 1. 最多 1 の技術支援ゾーンが主催者によって提供されることができる。外部からの技術支援はこのエリア内でのみ許可される。
 - 2. 1 競技会中において、1つのフレーム、1組の前後のサスペンション・ユニット(フォーク/後部ショック)、および1組の車輪のみを1競技者が使用することができる。フレーム、サスペンションおよび車輪はレースのスタート前に役員によって個々に印を付けられ、フィニッシュにおいて検査される。破損部品は、5分のペナルティを伴う承認により、交換することができる。
 - 機材
 - 1. 競技者は、競技中は常にヘルメットを着用しなければならない。非常にテクニカルな地形においてまたは急勾配な山腹または非常に高遠な細道の特徴とするコースにおいては、競技者がフルフェイスヘルメットを着用しなければならない。主催者は特別規則中に規定することができる。UCIは、条項4.3.013中で示されるように、競技者が防護物を身につけることを強く推奨する。
 - コース図
 - 1. コース図は主催者によって作成され、最初のトレーニングセッションが始まる前にすべての競技者が利用可能とならなければならない。長いコースの場合、またはナビゲートしづらい地形においては、コース図は競技者が携帯可能とするべきである。
 - コース標示
 - 1. エンデューロコースは、明確に矢印、ゲートおよび伝統的なコーステープの組み合わせを使って、示されていなければならない。
-
- 2. コースが明確に示され、いかなるショートカットも可能でないことを確かめるものとするために主催者によって特別な注意が払われなければならない。
 - 3. コーステープによって示されているコースのセクションでは、トラックの両側がマークされなければならない。
 - 4. 容易に識別可能なゲートを、理解困難あるいは明瞭に示すことが困難なセクションに取り付けるべきである。ゲートはコースの重要なエリアに取り付けられるべきであり、チェックポイントとして一覧されるべきである。
-
- 競技の運営
- 1. 主催者は、各計時ステージのスタート時刻を設定しな

- コース中の平坦または登坂箇所に設定する。スタートしてから最初に狭くなる場所は、競技者が相互に容易に通過できなければならない。
- (6) 技術支援
 - 次の状態を条件としてレース中の技術支援は許可される。
 1. 許可される技術支援は、競技中のフレーム以外の自転車部品の修理および交換による。自転車そのものの交換は許されない。また、競技者はスタート時と同じナンバープレートを着用してフィニッシュしなければならない。
 2. 技術支援は補給/技術支援ゾーンにおいてのみ行うことができる。
 3. 交換部品、修理工具類はゾーン内に置いておかなければならない。競技者は自ら、またはチームメイト、チームメカニシャンあるいは共通技術支援者の助力を得て修理または部品交換を行うことができる。インナー・チューブのような小部品や小工具補給/技術支援ゾーンにおいて手渡すことができる。
 4. 補給ゾーンでの技術支援に加え、技術支援は補給ゾーン外でも、同じチームのメンバーである競技者間であれば許される。
 - 競技者は、競技者自身あるいは他の競技者に危険及ぼすことがなければ工具、交換部品を持参することができる。
 - 3. ダウンヒル競技
 - (1) 競技の運営
 1. 独走形式とする。次のいずれかの方法をとる。
 - 特別競技規則に規定された予定数の競技者が決勝進出を認められる予選ラウンドと呼ばれる、予選走行方式。決勝において最速の競技者が勝者となる(ワールドカップに用いられる方式)。
 - シーディングラウンドにより独走の順番を決め、その独走の最速の者が勝者となる方式。
 - (3) 衣服と保護具
 4. 予選ラウンドおよび決勝においてカメラは許可されない。競技者は、危険性を排除するためにカメラの確実な固定に責任がある。JCFは、TV製作会社の使用の場合のみ、決勝中におけるカメラの使用許可を決定できる。余剰/恒久的なカメラの取付け具は禁止され、テープあるいはベルトのみ許可される。
 - 6. (1)

- スタートラインの先、少なくとも 100m は最小幅員 8 m
- その他の競技大会において:
 - スタートラインの手前少なくとも 50m は最小幅員 6 m
 - スタートラインの先、少なくとも 100m は最小幅員 6 m
- すべての競技大会において:
 - コース中の平坦または登坂箇所に設定する。スタートしてから最初に狭くなる場所は、競技者が相互に容易に通過できなければならない。
 - 技術支援
 - 以下の状態を条件としてレース中の技術支援は許可される。
 - 許可される技術支援は、競技中のフレーム以外の自転車部品の修理および交換による。自転車そのものの交換は許されない。また、競技者はスタート時と同じナンバープレートを着用してフィニッシュしなければならない。
 - 技術支援は補給/技術支援ゾーンにおいてのみ行うことができる。
 - 交換部品、修理工具類はゾーン内に置いておかなければならない。競技者は自ら、またはチームメイト、チームメカニシャンあるいは共通技術支援者の助力を得て修理または部品交換を行うことができる。インナー・チューブのような小部品や小工具補給/技術支援ゾーンにおいて手渡すことができる。
 - 補給ゾーンでの技術支援に加え、技術支援は補給ゾーン外でも、同じチームのメンバーである競技者間であれば許される。
 - 競技者は、競技者自身あるいは他の競技者に危険及ぼすことがなければ工具、交換部品を持参することができる。
 - ダウンヒル競技
 - 競技の運営
 - 集団スタート競技は以下より構成される:
 - 予選ラウンド(競技者への決勝参加資格付与のタイムトライアル、予選通過人数はテクニカルガイド中において主催者によって設定されなければならない)。この予選はまた、スタート順決定にも役立てられる。
 - マラソン・ダウンヒル(集団スタート・ダウンヒル)
 - 個々の主催者は、その大会のテクニカルガイドにおいて詳細情報を明確にしなければならない。
 - 衣服と保護具
 - 予選ラウンドおよび決勝においてカメラは許可されない。競技者は、危険性を排除するためにカメラの確実な固定に責任がある。JCFは、TV製作会社の使用の場合のみ、決勝中におけるカメラの使用許可を決定できる。
 - エンデューロ競技
 - レースの特徴
 - 1 レースにはいくつかの中継ステージと計時ステージを含む。
 - 2 すべての計時ステージにおいて達成されたタイムは合計時間に積算される。
 - 3 エンデューロ・コースは多様なオフロード地形から構成する。走路はオフロード路面の混合の上に、狭路、広幅員、低速と高速の細道と走路の混合を含むべきである。各計時ステージは主として下降路でなければならないが、多少ペダルを踏むか、登坂のセクションは容認できる。
 - 4 中継ステージは、機械式リフト(例えばスキーリフト)、

- の前後の前後が到達した競技者は、競技を終了したと判定する。ただし、トラックレースのフィニッシュにおいては、前後タイヤがフィニッシュライン上の電子計時用スイッチに接触することにより判定してよい。
 - ① 速度競走の先頭責任の判定にあたる。
 - ④ 写真判定機を使用する時、その判定に立ち合う。判定写真を検査することができる者は、フィニッシュ・ジャンジ、コニセール・パナールのメンバー、アビール・パナールのメンバーとする。
 - 8. タイムキーパー(計時・時間管理)
 - ① 競技のタイムを計測する。タイムによって成績を決定する競技は、1/1000 秒まで計時しなければならない。
 - ② 電子計時を使用する場合は、その結果を確認する。
 - ③ (1) 手動計時については、以下の要領による。
 - 手動計時の場合は、3人で計時することを原則とする。計時主任(3人のタイムキーパーのうち一人が兼ねることができる)は3人の記入した計時用紙をまとめ、次の手順で正式時間を算出し、主任用計時記録用紙に記入する。
 - 3人の計時結果が一致した場合はそれを正式時間とする。
 - 2人の計時結果が一致した場合はそれを正式時間とする。
 - それぞれの計時結果が異なるときには、3つの計時結果の2番目の値(B)を正式時間とする。
- 計時値 A B C
正式時間
- ④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ピストル、ベル等により競技終了を予告する。
 - ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた中分な数のタイムキーパーを配置する。タイムキーパーは、正規の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助力を得ることができる。
 - ⑥ タイムキーパーは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュ・ジャンジに手渡す。
4. ホルダー(発走)
 - ③ スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。
40. フォジキ(招集)
 - ① 競技の出発前に、競技者を確認しスタートラインに誘導する。
 - ② 競技規則第8条、第14条に従い、競技者の装備を確認する。
44. バイクインスペクター(自転車検査)
 - ① 競技規則第16条、第17条、第20条、第27条に従い、競技者の自転車が規則に定められている仕様に合致しているかを確認する。
 - ② 競技規則第18条、第10条に従い、ペーサのオートバイが規則に定められている仕様に合致しているかを確認する。

ポイントレースの中間スプリント、エリミネーションレースにおける除外、速度競走の先頭責任の判定にあたる。

ホルダー(発走)
スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。スターと準備が整いカウント・ダウン開始が可となった時点で旗を掲げて合図する。通常これに専任者を充てる。

<p>認する。 ②ポイントレース等の代車についても確認する。 42. ラップカウンタ(周回) 5. ベル・リンガー(打鐘) ① ポイントレースにおいては、ポイント周回を告知する。 14. IDチェック ① 競技場内において、IDカードの管理を行い無用の者を立ち入らせない。 ② コミセールエリアには、関係者以外立ち入らせないようにする。 ③ アビールがあった場合、その文書と共に供託金を受領し、チーム・コミセールに取り次ぐ。 ④ この任務は総務担当役員があたることもできる。 16. マチウシ(通告) ① 競技進行に必要な通告をする。 ② 競技結果を通告する。 ③ 競技者に指示を与える場合、必要があればスタッフを補佐する。</p>	<p>ベル・リンガー(打鐘) ポイント周回、<u>除外周回</u>等を告知する。</p>
<p>第60条 (ロード・レース競技担当役員の任務) ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。 1. アビールパネル 審判車およびその他の随行車両、フィニッシュ地点を分担し、競技の細部を監視する。 2. チーム・コミセール ① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。 ② ライセンスコントロールの責任者となる。 ③ 通常はレース・ディレクターの任務も併せて務める。 ④ 審判車 No.1 に乗車し、競技の進行について監督管理する。必要に応じ、レース・ディレクター車を設定する。 ⑤ ピット、チェックポイント、整備・安全施設等が、全行程にわたって設置されていることを確認するか、自らの責任において確認させる。 ⑥ 各競技担当役員が所定の配置につき、各車両、機材の準備が整っているか確認するか、自らの責任において確認させる。 3. コミセールパネル・システム ① 審判車 No.2 に乗車し、競技者集団より先行して、審判車 No.1 と連絡を取りつつ競走を監視する。 ② 審判車 No.3 に乗車し、主に後方の集団を監察する。 1. ① ② ③ ④ 2.</p>	<p>(ロード・レース競技担当役員の任務) ロード・レースにおける競技担当コミセールおよびアシスタント・コミセールは、<u>ロード・レースに特有な次の任務も行なう。</u> <u>モーターサイクル・コミセール(モト・コミセール)</u> 下記のような任務を分担し、あるいは交代しつつ担当する。 <u>違反防止に努める。必要に応じ、競技者、チーム監督に警告する。違反があった場合は記録し、レース後に報告する。</u> <u>逃げ競技者と集団、集団間の間隔を計測し、通知する</u> <u>競技の諸情報(集団の間隔、中間スプリントの結果、首位者等)を競技者・役員に提供する。</u> <u>カメラマン、TV等の車両を監視する。</u> <u>モーターサイクル・エスコート</u> <u>公道におけるロード・レースの安全な運営のために、レースの先導、競技者の保護、危険の告知等を分担し、あるいは交代しつつ担当する。</u></p>

<p>2. クロスカントリー競技 (1) レースの特性 クロスカントリー・オリンピック - XCO オリンピック形式のクロスカントリー競技用のサークキット ① 周長は、4 kmから6 kmの間とする。魅力的なコース設計 2. 斜として、<u>ターボ</u>の葉の形状の会場利用が理想的である。 コースには、フィニッシュ・ラインまでの残距離を示す距離標示を1kmごとに記さなければならない。 ② クロスカントリー・マラソン - XCM 1. <table border="1" data-bbox="1657 407 1747 517"> <tr><td></td><td>最長距離</td></tr> <tr><td>マラソン(サイクリング・フォーオール)</td><td>60 km</td></tr> <tr><td>大陸選手権大会</td><td>80 km</td></tr> <tr><td>世界選手権大会</td><td>80 km</td></tr> </table> 最長距離は420kmとする。 上記の距離は男子カテゴリーを対象とする。女子において、距離を適宜短縮するが、マラソン競技の最長距離である60kmは尊重する。 コースには、レース残距離を示す距離標示を10kmごとに記さなければならない。 レースは1周回、あるいは3周回を限度とする複数周回で行うことができる。 1周回による競技の場合、コースには、競技者が2度通過する箇所を含んではならない。スタートおよびフィニッシュ・ラインのみ、同一場所に位置してよい。 複数周回競技の場合、女子レースのための周回中のショート・カットは認められない。 ③ クロスカントリー・ポイントトゥ・ポイント - XCP 1. クロスカントリー・ポイントトゥ・ポイント用のコース長は、<u>26kmから60kmの間とする。</u> この競技は1つの場所でスタートし、他の場所でフィニッシュするものとする。 XCP競技は、多くはステージ・レース(XCS)中に行われる。 ④ クロスカントリー・ショートサーキットまたはタリテリウ ム - XCC ⑥ クロスカントリー・タイムトライアル - XCT 1. <u>クロスカントリー・タイムトライアル用のコース周長は、4 kmから26kmの間とする。</u> クロスカントリー・タイムトライアル競技は、ステージ・レース(XCS)中のみで行われる。 (3) コース標示 8. オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、大陸選手権大会およびオー・クラス大会におけるオリンピック形式のレースにおいてはコースは杭、横断幕などにより標示され、コースの全長に渡り防護されなければならない。 <u>世界選手権大会、ワールドカップ、大陸選手権大会およびオー・クラス大会におけるマラソン形式のレース、においてコースは問題なくコースをたどれるように十分に標示されなければならない。</u> (4) スタートおよびフィニッシュ・ゾーン 2. クロスカントリー競技(集団スタート競技)のスタート・ゾーンは: ■ スタート・ラインの手前少なくとも50mは最小幅員8m ■ スタート・ラインの先、少なくとも100mは最小幅員8m</p>		最長距離	マラソン(サイクリング・フォーオール)	60 km	大陸選手権大会	80 km	世界選手権大会	80 km	<p>い、他の全ての人はコースに入らないように保たなければならない。 クロスカントリー競技 レースの特性 クロスカントリー・オリンピック - XCO オリンピック形式のクロスカントリー競技用のコースは理想的に、観客とすべてのテレビ報道のために良好な視界を助長するように、クローバー型交差点デザインの魅力的なレイアウトを使うべきである。両側よりの補給/技術支援ゾーンが強く推奨される。 コースには、フィニッシュ・ラインまでの残距離を示す距離標示を1kmごとに記さなければならない。 クロスカントリー・マラソン - XCM コースには、レース残距離を示す距離標示を10kmごとに記さなければならない。 レースは1周回、あるいは3周回を限度とする複数周回で行うことができる。 1周回による競技の場合、コースには、競技者が2度通過する箇所を含んではならない。スタートおよびフィニッシュ・ラインのみ、同一場所に位置してよい。 複数周回競技の場合、女子レースのための周回中のショート・カットは認められない クロスカントリー・ポイントトゥ・ポイント - XCP クロスカントリー・ポイントトゥ・ポイント用のコースは1つの場所でスタートし、他の場所でフィニッシュするものとする。 クロスカントリー・ショートサーキット - XCC クロスカントリー・タイムトライアル - XCT クロスカントリー・タイムトライアル競技は、ステージ・レース(XCS)中のみで行われる。 コース標示 オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、大陸選手権大会およびオー・クラス大会におけるオリンピック形式のレースにおいてはコースは杭、横断幕などにより標示され、コースの全長に渡り防護されなければならない。 <u>すべてのマラソン形式のレース、においてコースは問題なくコースをたどれるように十分に標示されなければならない。</u> スタートおよびフィニッシュ・ゾーン クロスカントリー競技(集団スタート競技)のスタート・ゾーンは: ■ <u>世界選手権大会とワールドカップにおいて:</u> ■ スタート・ラインの手前少なくとも50mは最小幅員8m</p>
	最長距離								
マラソン(サイクリング・フォーオール)	60 km								
大陸選手権大会	80 km								
世界選手権大会	80 km								

度で走行しなければならない。事故時の集団において競技者の位置が前方か後方かは考慮されない。
 競技再開は黄旗の降納とピストルの発砲による。この時点で競技に復帰できなかった競技者は除外され、彼らの除外時のタイムにより順位が決定される。続く周回で鳴らされるベルによりスプリント周回の開始が示される。
 トラック上の全競技者が事故に遭った場合を除き、ひとたび競技者が4名以下になったならばニュートラリゼーションは与えられず、完走しなかった競技者は除外されたタイムにより順位づけられる。

第16章 ロード・レース規則

<p>第84条 (ロード・レース) 5. (競技者の順守義務) (5) 競技者はレース前にサキットを調べておかなければならない。競技中に警察官等から指示があったとしても、指示されたサキットから離れてはならないし、たとえ間違った方向を指示されたり、標識等の不備によって間違った方向に行ったとしても不服をのべることはできない。競技者が近道をとる利益を得た場合、その競技者は、付表3のペナルティ表に従い罰則を適用される。 (6) 8. (随行車両) (2) タイムトライアルを除き、レースに随行するすべての車両は、最大車高を4.60mに制限される。 (3)</p>	<p>(ロード・レース) (競技者の順守義務) 競技者はレース前にコースを調べておかなければならない。競技中に警察官等から指示があったとしても、指示されたコースから離れてはならないし、たとえ間違った方向を指示されたり、標識等の不備によって間違った方向に行ったとしても不服をのべることはできない。競技者が近道をとる利益を得た場合、その競技者は、付表3のペナルティ表に従い罰則を適用される。 コースの一部ではない車道の脇の歩道/舗道、小道または自転車道を使うことは厳に禁止される。この要件を尊重しないことは、適用される他のいかなる制裁を毀損することなくJCF競技規則ペナルティ表14bisに従って制裁される。 (随行車両) タイムトライアルを除き、レースに随行するすべての車両は、最大車高を1.66 mに制限される。 車列中のチームカーの窓には、車両を通じた視界を妨げるようなマークをつけたりしてはならず、随行車両を見分けるために主催者が配布したマーキング以外のデカールで覆ってはならない。</p>
---	---

<p>第85条 (ワンデイ・ロード・レース) (飲食物の補給) 16. 補給は、登坂区間、降坂区間、始めの50km、フィニッシュ前20kmには設定しない。補給開始地点の60kmという距離は、天候条件およびレースのカテゴリ、種類、距離により、コミセールはその場所を変更できる。この決定は、レースのスタート前に関係する団体に伝達しなければならない。</p>	<p>(ワンデイ・ロード・レース) (飲食物の補給) 補給は、登坂区間、降坂区間、始めの50km、フィニッシュ前20kmには設定しない。上記の距離は、天候条件およびレースのカテゴリ、種類、距離により、コミセールはその場所を変更できる。この決定は、レースのスタート前に関係する団体に伝達しなければならない。</p>
--	--

<p>第88条 (ステージ・レース) (結果の報告) 23.</p>	<p>(ステージ・レース) (結果の報告) 競技結果を確定する前に競技者が失格となった場合、個人順位は調整しなければならない。 競技結果を確定した後競技者が失格となった場合は、上位3位までは、個人総合順位は調整しなければならない。第4位は空位とする。</p>
--	--

第17章 マウンテンバイク規則

<p>第92条 (マウンテンバイク規則) 1. 総則 (1) 年齢カテゴリと参加 (4) 競技大会手順 (1) 安全 1. コースは競技および公式トレーニング期間中のみ競技者が走行できる。他の全ての人はコースに入らないように保たなければならない。</p>	<p>(マウンテンバイク規則) 総則 年齢カテゴリと参加 エンデューロ競技は17歳以上のすべての競技者が参加できる。ジュニア、U23、エリート・カテゴリのための別個のリザルトは発行されない。 競技大会手順 安全 コースは競技および公式トレーニング期間中のみ競技者が走行できる。公式トレーニング期間中は、マニシヤルおよび医療体制は存在していなければならない。</p>
--	--

3. ニュートラルカー・コミセール(機材車担当審判員)
 ① ニュートラル・カーNo.1に乗り、先行する集団を担当し、機材交換等を監督管理する。その他のニュートラルカーに乗りした者は、競走の展開に応じ、チーフ・コミセールまたはレース・ディレクタの指示により監督管理する。

6. **コミセール(決勝審判)**
 コミセールがこの任務にあたる。必要に応じて他の役員の援助を受けることができる。
 ①フィニッシュに関し、審判決定の唯一の責任者である。
 ②フィニッシュラインの手前側の線に垂直な面に自転車の前輪の前端が到達した競技者は、競技を終了したと判定する。ただし、ロード・タイムトライアル・レースのフィニッシュにおいては、前輪タイヤがフィニッシュライン上の電子計時用スイッチに接触することにより判定してよい。

③フィニッシュの1km前からフィニッシュラインに至る範囲を担当する。
 ④写真判定機を使用する時、その判定に立ち会う。判定写真を検査することができる者は、フィニッシュ・コミセール・パネルのメンバ、アピル・パネルのメンバとする。
 ⑤山岳等地点等における通過順位を判定する。

8. **スイーパー(招集)**
 ①出走の最終確認をする。
 ②競技規則第8条・第14条に従い、競技者の装備を確認する。
 ③競技者を招集ゲートに集合させ、その後スタートラインに誘導する。

9. **バイクインスペクター(自転車検査)**
 ①競技規則第16条、第30条、第38条第1項に従い、競技者の自転車が規則に定められている仕様と合致しているかを確認する。
 ②競技規則第10条に従い、ペーサのオートバイが規則に定められている仕様と合致しているかを確認する。
 ③機材ピット、ニュートラルカーに準備される準備自転車についても管理する。
 ④補給所、機材ピットが設定される場合には、競技中はそこに位置し、必要事項について管理する。

12. **スタータ(出発合図)**
 競技のスタータはコミセールの承認を受けたものでなければならない。スタータはコミセールの中から選任することもできる。
 ①スタータは参加全競技者が、招集されているかどうかを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。
 ②有効なスタートが行われるよう務める。
 ③ピストル、笛、旗、またはベルによりスタートを合図する。
 ④名簿スタータを起用することができる。

13. **ラップ・カウンタ(周回)**
 ①競技の周回を確認し、周回板で告知する。
 ②飲食物の補給が許される周回の開始と終了を告知する。

14. **ベルリンガ(打鐘)**
 ベルにより競技の最終周回の開始を予告する。

15. **IDチェック**
 ①競技会場において、IDカードの管理を行い無用の者を立ち入らせない。

ニュートラルカー・コミセール(機材車担当審判員)
 ニュートラル・カーNo.1に乗り、先行する集団を担当し、機材交換等を監督管理する。その他のニュートラル車両(四輪・二輪)に乗りした者は、競走の展開に応じ、チーフ・コミセールまたはレース・ディレクタの指示により監督管理する。

<p>② コミセールエリアには、関係者以外立ち入らせないようにする。</p> <p>③ アピールがあった場合、その文書と共に供託金を受領し、チーム・コミセールに取り次ぐ。</p> <p>④ この任務は総務担当役員があたることもできる。</p> <p>47. フラッグ・イン・ディケータ（旗掲示） フィニッシュの500m前、補給所前、注意箇所等に位置し、手旗で合図する。</p> <p>48. アナウンス（通告） ① 競技者が招集ラインからスタートラインに整列する際に紹介する。</p> <p>② 競技経過と競技結果を通告する。</p>	<p>（タイムトライアル・ロード・レース競技担当役員の任務） タイムトライアル・ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。</p>
<p>第61条（タイムトライアル・ロード・レース競技担当役員の任務） タイムトライアル・ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。</p> <p>1. アピール・パネル 必要な場所に位置し、競技の細部を監視する。必要があれば審判車を使用して移動する。</p> <p>2. チーフ・コミセール ① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>② ライセンス・コントロールの責任者となる。</p> <p>③ 競技の進行について監督管理する。</p> <p>④ 必要があれば審判車を使用して監察する。</p> <p>3. コミセール・パネル・メンバー ① フライングを監察する。</p> <p>② 折返し点を監察する。</p> <p>③ 必要があれば審判車を使用して監察する。</p> <p>4. レース・セクレタリ ① 競技大会に関するすべてのコンピュータ（指示事項、競技成績、スタートリスト等）を作成する。</p> <p>② 折返し点ごとの通過タイムを指示する。</p> <p>③ 競技中の失格者、棄権者を記録する。</p> <p>④ 競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技再委員会の作成する事業報告書に収録する。</p> <p>5. スタータ（出発合図・出発の判定） ① スタータはコミセールの中から選任する。</p> <p>② そのレースに出走する競技者が招集されているか否かを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。</p> <p>③ 有効なスタートが行われるよう務める。</p> <p>④ 旗、旗、またはベル等によりスタートを合図する。</p> <p>⑤ スタータのみが、スタートの有効性を判定できる。</p> <p>⑥ フライング秒数を計時・記録する。</p> <p>⑦ 各善スタータを起用することができる。</p> <p>1. タイム・キーパー（計時・時間管理） ① 10分の1秒まで計時する。</p> <p>② フィニッシュ地点で複数の人員で計時する。また、各折返し地点でも計時する。</p> <p>2. ホルダー（発走） ① 始めから終わりまで、1組のホルダーが担当する。</p> <p>② スタート・ラインにおいて、競技者を横1列に並べ保持する。</p> <p>③ スタートは、押さずに手を離すだけで行う。</p> <p>8. フィニッシュ・ジャッジ（決勝審判）</p>	<p>（タイムトライアル・ロード・レース競技担当役員の任務） タイムトライアル・ロード・レースにおける競技担当コミセールおよびアシスタント・コミセールは、タイムトライアル・ロード・レースに特有な次の任務も行う。</p> <p>タイム・キーパー（計時・時間管理） ① 10分の1秒まで計時する。</p> <p>② フィニッシュ地点で複数の人員で計時する。また、各折返し地点でも計時する。</p> <p>ホルダー（発走） ① 始めから終わりまで、1組のホルダーが担当する。</p> <p>② スタート・ラインにおいて、競技者を横1列に並べ保持する。</p> <p>③ スタートは、押さずに手を離すだけで行う。</p>

<p>コミセールがこの任務にあたる。必要に応じて他の役員 の援助を受けることができる。</p> <p>④ フィニッシュに関し、最終判定の唯一の責任者である。</p> <p>⑤ 写真判定機を使用する時、その判定に立ち合う。</p> <p>3. チーム・カー・コミセール ① 次の事項を監督管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者（チーム）間の距離 ・ 競技者（チーム）と追走車間の距離 ・ チーム間の追い越し、追い越され ・ 飲食料の補給 ・ 機材の交換、修理 <p>② チーム・カーに積載した予備自転車についても規則に定められている仕様と合致するか確認する。</p> <p>③ 競技終了後、競技中に監察した事項をチーフ・コミセールに報告する。</p> <p>10. アナウンス（招集） ① 出走の最終確認をする。</p> <p>② 競技規則第8条、第14条に従い、競技者の装備を確認する。</p> <p>③ 競技者を招集ゲートに集合させ、その後スタートラインに整列させる。</p> <p>11. バイク・イン・スペクター（自転車検査） ① 競技規則第16条、第20条、第28条第1項に従い、競技者の自転車が規則に定められている仕様と合致するか確認する。</p> <p>② チーム・カーに積載した予備自転車についても確認する。</p> <p>12. ラップ・カウンタ（周回） 競技の周回を確認し、周回板で告知する。</p> <p>13. ベルリンガー（行進） ベルにより競技の最終周回の開始を予告する。</p> <p>4. フラッグ・イン・ディケータ（旗掲示） 各折返し地点、フィニッシュの前、注意箇所等に位置し、競走の安全確保のために手旗で合図する。</p> <p>16. IDチェック ① 競技会場において、IDカードの管理をし、無用の者を立ち入らせない。</p> <p>② コミセールエリアには、関係者以外立ち入らせないようにする。</p> <p>③ アピールがあった場合、その文書と共に供託金を受領し、チーム・コミセールに取り次ぐ。</p> <p>④ この任務は総務担当役員があたることもできる。</p> <p>16. アナウンス（通告） ① 競技者が招集ラインからスタートラインに整列する際に、紹介する。</p> <p>② 競技経過と競技結果を通告する。</p>	<p>チーム・カー・コミセール ① 次の事項を監督管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者（チーム）間の距離 ・ 競技者（チーム）と追走車間の距離 ・ チーム間の追い越し、追い越され ・ 飲食料の補給 ・ 機材の交換、修理 <p>② チーム・カーに積載した予備自転車についても規則に定められている仕様と合致するか確認する。</p> <p>③ 競技終了後、競技中に監察した事項をチーフ・コミセールに報告する。</p> <p>フラッグ・イン・ディケータ（旗掲示） 各折返し地点、フィニッシュの前、注意箇所等に位置し、競走の安全確保のために手旗で合図する。</p>
--	--

第14章 トラック・レース規則

<p>第77条（エリミネーション・レース） 8. 複数の競技者が事故に遭った場合、そのときに適用される同順位とされる。</p> <p>一人または複数の競技者が認められる事故に遭った場合、チーフ・コミセールの決定により直ちに、影響を受けた競技者が集団に復帰できるよう、最長で1300mに近い周回数のニュートラリゼーションが与えられる。すべてのトラック上の競技者が認められる事故に遭った場合、影響を受けた競技者が競技に復帰できるよう、最長3分間のニュートラリゼーションが与えられる。</p> <p>ニュートラリゼーションはスタートラインにおける黄旗で示され、トラック上の全競技者は緊密な集団で適度の速</p>	<p>（エリミネーション・レース） 一人または複数の競技者が認められる事故に遭った場合、チーフ・コミセールの決定により直ちに、影響を受けた競技者が集団に復帰できるよう、最長で1300mに近い周回数のニュートラリゼーションが与えられる。すべてのトラック上の競技者が認められる事故に遭った場合、影響を受けた競技者が競技に復帰できるよう、最長3分間のニュートラリゼーションが与えられる。ニュートラリゼーションはスタートラインにおける黄旗で示され、トラック上の全競技者は緊密な集団で適度の速度で走行しなければならない。事故時の集団において競技者の位置が前方か後方かは考慮されない。</p>
--	--